

鉄鋼需給の動き

2024年4月

一般社団法人日本鉄鋼連盟

日本経済は、緩やかに持ち直しているものの、力強さを欠いている。3月の日銀短観(4月1日公表)では、企業の業況感を示す業況判断指数(DI)は、大企業製造業では自動車を中心とした幅広い業種で低下し、4期ぶりに悪化、先行きも低下が見込まれている。足元の指標をみると、需要面では、設備投資の先行指標である機械受注(1月、季調済み)が、前月比1.7%減となり、基調判断は「足元は弱含んでいる」に下方修正された。また、輸出数量指数(2月)は、前月比4.5%減と2ヵ月連続の低下となった。供給面では、鉱工業生産指数(2月、速報、同)は、引き続き自動車工業などが低下し、前月を下回ったものの、先行きは自動車生産が次第に正常化しており、改善が見込まれている。

海外経済をみると、米国は、総じて景気は底堅く推移しているものの、インフレ率が下げ渋るなか個人消費・雇用情勢に鈍化の兆しもみられる。中国は、一部製造業関連指標に回復傾向が窺われ、消費者物価指数は、前年同月比で6ヵ月ぶりの上昇となった一方で、改善がみられない不動産不況などを背景に、景気の先行きは未だ不透明。欧州では、インフレ抑制を優先し金利高止まりが続くものの、需要減からインフレ圧力は緩和。下振れリスクは依然残るが、景気底打ちの様相を見せ始めている。

国内鉄鋼市場のうち、2月の需要産業動向を見ると、建設業では、非住宅着工床面積が2ヵ月連続、新設住宅着工戸数は9ヵ月連続で前年水準を下回った。製造業では、四輪車生産(乗用車・トラック計、速報)は2ヵ月連続で減少した。また、鉱工業生産指数は、生産用機械(速報値)が2ヵ月ぶり、汎用・業務用機械(同)が2ヵ月連続の低下となった。こうしたなか、国内鉄鋼統計(2月、速報)を見ると、粗鋼生産(699万トン、前年同月比1.1%増)は3ヵ月連続で増加した。普通鋼鋼材では、生産(470万トン、同1.8%増)が3ヵ月連続の増加、出荷のうち国内向け(294万トン、同0.8%減)は2ヵ月連続、輸出向け(160万トン、同15.4%減)は2ヵ月ぶりの減少となった。

海外鉄鋼市場を見ると、世界粗鋼生産(2月)は前年同月比3.7%増の1億4,884万トンと2ヵ月連続の増加となった。このうち、インドは、前年同月比7.3%増の1,180万トンとなった一方、中国(1-2月累計)は前年同月比1.6%増の1億6,796万トンとなった。中国の鋼材輸出(1-2月累計)は、前年同期比32.6%増の1,591万トンと大幅増、同期としては過去3番目となっており年明け後も高水準が続いている。

当面の経済及び鉄鋼需要の下振れリスクとして、米中対立の先鋭化、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の緊迫化などの地政学リスクとその影響、中国経済の低迷とそれに伴う鉄鋼需給バランスの悪化、人手不足による生産活動への影響などが挙げられる。こうしたリスクを踏まえ、引き続き内外経済及び鋼材需要の動向を注視する必要がある。

1.経済動向

- ・2月の鉱工業生産は2ヵ月連続の前月比低下。基調判断は「一進一退ながら弱含み」を据え置き。先行きは、3月、4月ともに上昇を予測。
- ・2月の乗用車販売(速報)は前年同月比17.5%減の27.6万台と2ヵ月連続の減少。普通車、小型車、軽がいずれも減少。
- ・2月の小売業販売額は前年同月比4.6%増と24ヵ月連続の増加、同月の全世帯消費支出は前年同月比0.5%減と12ヵ月連続の減少。
- ・2月の完全失業率は前月から0.2ポイント上昇の2.6%。有効求人倍率は前月から0.01ポイント低下の1.26倍。
- ・3月の日銀短観・大企業製造業の業況判断指数は、+11と前回(12月)から2ポイント低下。先行きは1ポイント低下の+10の見込み。

2.鉄鋼需要産業動向

(建設部門)

- ・土木:2月の土木工事受注額は、公共土木が前年同月比7.2%減と2ヵ月連続の減少。民間土木は同25.3%減と4ヵ月連続の減少。
- ・建築:2月の新設住宅着工戸数は前年同月比8.2%減と9ヵ月連続の減少。非住宅着工床面積は同13.0%減と2ヵ月連続の減少。

(製造業部門)

- ・自動車:2月の四輪車生産は前年同月比16.5%減の61.7万台と2ヵ月連続の減少。
- ・産業機械:2月の生産用機械は前年同月比10.4%減と2ヵ月ぶりの減少、汎用・業務用機械は同5.5%減と2ヵ月連続の減少。
- ・造船:3月の輸出船契約量は前年同月比16.1%増の114万G/Tと2ヵ月連続の増加。同月末の手持工事量は2,763万G/T。

3.鋼材受注

- ・普通鋼:2月の内需は前年同月比0.1%増の280万トンと5ヵ月連続の増加。
- ・特殊鋼:2月の内需は前年同月比4.1%減の79万トンと5ヵ月ぶりの減少。

4.鉄鋼需給(生産・出荷・在庫)

- ・粗鋼生産:3月の粗鋼生産(速報)は前年同月比3.9%減の720万トンと4ヵ月ぶりの減少。2023年度の粗鋼生産(速報)は前年度比1.1%減の8,683万トンと2年連続の減少。
- ・鋼材生産:3月の普通鋼鋼材生産(速報)は前年同月比8.9%減の496万トンと4ヵ月ぶりの減少。2月の特殊鋼鋼材生産は同0.4%減の118万トンと3ヵ月ぶりの減少。
- ・出荷:2月の普通鋼鋼材国内向け出荷は前年同月比0.8%減の294万トンと2ヵ月連続の減少。同月の特殊鋼鋼材国内向け出荷は同6.3%減の83万トンと2ヵ月連続の減少。
- ・在庫:2月末の普通鋼鋼材国内在庫は538万トンと前月末比2ヵ月連続の増加。同月末の特殊鋼鋼材在庫は178万トンと同3ヵ月連続の増加。

5.鋼材輸入、鋼材流通

- ・2月の鋼材輸入は、前年同月比5.2%増の42万トンと13ヵ月連続の増加。

6.鉄鋼輸出

- ・3月の全鉄鋼輸出(速報)は、前年同月比9.8%減の270万トンと2ヵ月連続の減少。

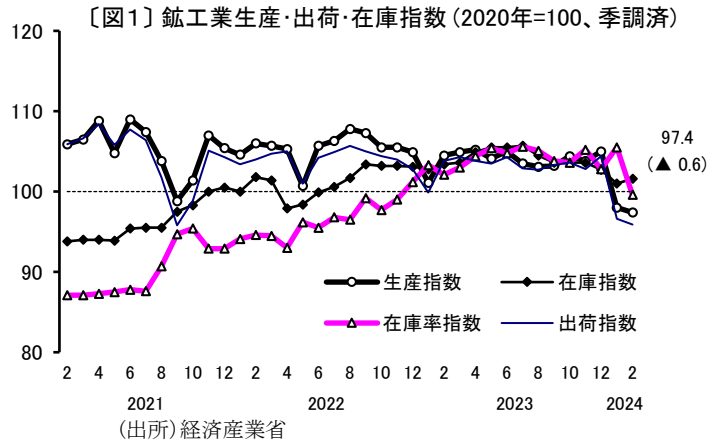
7.海外市場

- ・世界粗鋼生産:2月(worldsteel、71カ国)の粗鋼生産は前年同月比3.7%増の1億4,880万トンと3ヵ月ぶりの増加。
- ・中国:3月(国家統計局)の粗鋼生産は、前年同月比7.8%減の8,827万トン(日産量284.7万トン)と2ヵ月ぶりの前年同月比減少。1-3月累計では前年同期比1.9%減の2億5,655万トン。
3月の鋼材輸出は前年同月比25.2%増の989万トンと9ヵ月連続の前年同月比増加。3月の鋼材輸入は前年同月比9.5%減の61.7万トンと2ヵ月連続の前年同月比減。

1. 経済動向 -2月の鉱工業生産は2か月連続の低下、先行きは3月、4月ともに上昇の見込み-

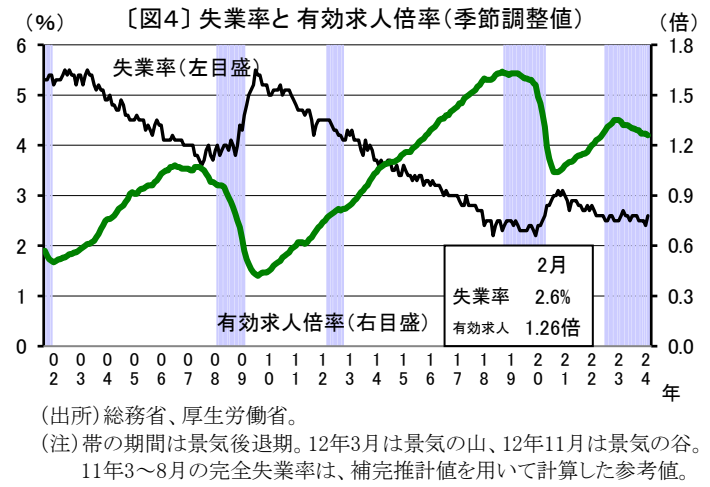
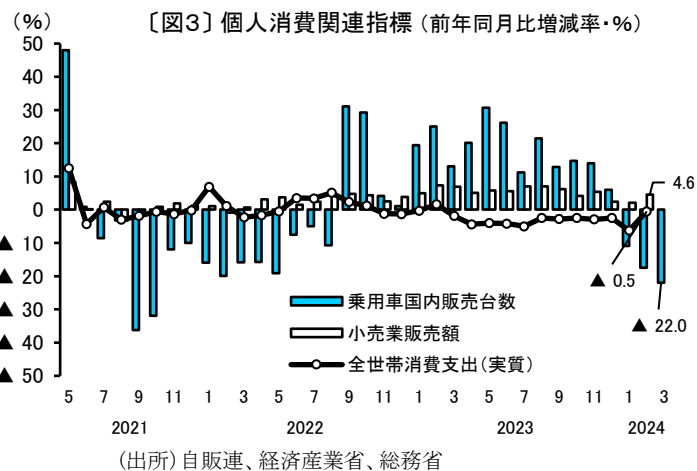
・2月の鉱工業生産は、前月比(季調済。以下、同)0.6%減の97.4と2か月連続で低下した。業種別にみると、生産用機械工業が上昇したものの、自動車工業、化学工業等が低下した。製造工業生産予測調査は、3月は4.9%増、4月は3.3%増とともに上昇を予測。基調判断は「一進一退ながら弱含み」を据え置き。在庫(101.6)は同0.6%増と上昇した一方、出荷(95.9)は同0.7%減、在庫率(99.6)は5.6%減と低下した。

・2月の機械受注(船舶・電力を除く民需)は、全体では前月比(季調済。以下、同)7.7%減の8,868億円と2か月ぶりの増加。内訳は、非製造業(9.1%増)は不動産業等の増加により2か月連続、製造業(9.4%増)は鉄鋼業、金属製品等の増加により2か月ぶりの増加となった。基調判断は「足元は弱含んでいる」に据え置かれた。



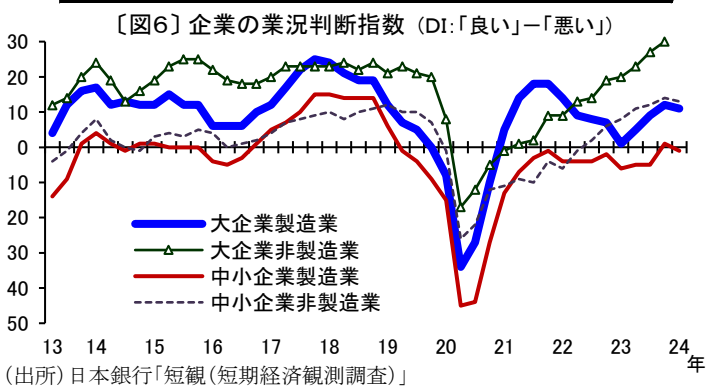
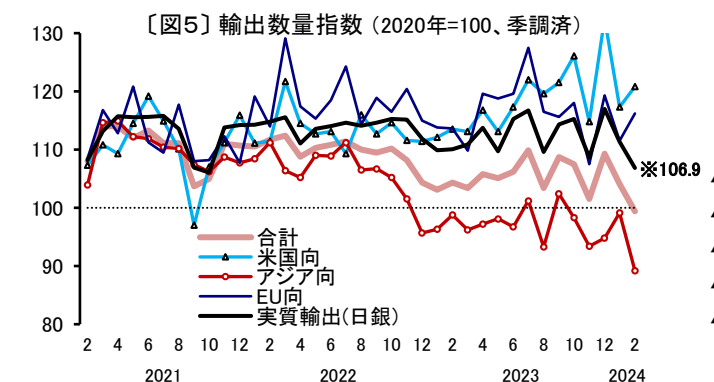
・3月の乗用車販売(除・輸入車)は前年同月比22.0%減と3か月連続の減少。普通車が2か月連続、小型車が6か月連続、軽が4か月連続のマイナスとなった。
 ・2月の小売業販売額は前年同月比4.6%増と24か月連続の増加、同月の全世帯消費支出は前年同月比0.5%減と12か月連続の減少となった。

・2月の完全失業率は前月から0.2ポイント上昇の2.6%。有効求人倍率は前月から0.01ポイント低下の1.26倍。また、新規求人倍率は前月から0.02ポイント低下の2.26倍。



・2月の輸出数量指数(季調済)は前月比4.5%減と2か月連続の低下となった。向け先別では、米国向け、EUが向け2か月ぶりに上昇したものの、アジア向けが3か月ぶりの低下となった。
 ・2月の実質輸出(日銀)は前月比4.0%減と2か月連続で低下した。

・日銀の3月短観によると、企業の景況感を示す業況判断指数(DI)は、大企業製造業が前回(12月)から2ポイント低下のプラス11となり、4四半期ぶりの悪化となった。先行きは1ポイント低下のプラス10の見込み。なお、大企業非製造業は前回から2ポイント上昇のプラス34(先行きは7ポイント低下のプラス27)、中小企業製造業が前回から3ポイント低下のマイナス1(先行きは1ポイント上昇の0)、中小企業非製造業は前回から1ポイント低下のプラス13(先行きは5ポイント低下のプラス8)となった。



2. 鉄鋼需要産業動向

—3月の四輪車販売は3ヵ月連続のマイナス—

<土木>

○3月の公共土木工事前払金保証請負金額は前年同月比13.8%増の1兆1,208億円、2ヵ月ぶりの増加

- ・発注者別には、地方の機関(5.4%増・6ヵ月連続)、国の機関(26.3%増・2ヵ月ぶり)が増加し、全体では前年同月比13.8%増の1兆1,208億円と2ヵ月ぶりの増加となった。
- ・2023年度では前年度比3.2%増の8兆6,326億円と3年ぶりの増加となった。

○2月の公共土木工事受注額は前年同月比7.2%減の1兆1,551億円、2ヵ月連続の減少

- ・港湾・空港(約2.9倍)等が増加したものの、治山治水(6.9%減)、道路(11.7%減)等が減少し、全体では前年同月比7.2%減の1兆1,551億円と2ヵ月連続の減少となった。

○2月の民間土木工事受注額は前年同月比25.3%減の3,806億円、4ヵ月連続の減少

- ・農林漁業(65.9%増)が増加したものの、製造業・鉱業・建設業(7.2%減)、運輸通信(23.9%減)等が減少し、全体では前年同月比25.3%減の3,806億円と4ヵ月連続の減少となった。

<建築>

○2月の新設住宅着工戸数は前年同月比8.2%減の5.9万戸と9ヵ月連続の減少

- ・利用関係別には、貸家(1.0%増・2ヵ月連続)が増加したものの、持家(11.2%減・27ヵ月連続)、分譲(17.7%減・2ヵ月連続)が減少し、全体では8.2%減の5.9万戸と9ヵ月連続の減少となった。
- ・季節調整済年率換算着工戸数は79.5万戸となった。

○2月の非住宅着工床面積は前年同月比13.0%減の310万㎡と2ヵ月連続の減少

- ・用途別では、公益事業(14.0%増)が増加したものの、商業・サービス(32.9%減)、鉱工業(10.4%減)、公務文教(11.0%減)が減少したことから、全体では13.0%減の310万㎡と2ヵ月連続の減少となった。
- ・使途別では、事務所(3.0%減)、工場(16.6%減)、店舗(36.8%減)、倉庫(6.1%減)がいずれも減少した。
- ・季節調整済年率換算着工床面積は3,980万㎡と、4ヵ月連続で5千万㎡を下回った。

[表1] 建設関連統計指標

(単位：億円，千戸，%)

	公共土木工事前払金保証請負金額			土木工事受注額		新設住宅着工戸数					年率換算着工戸数
	国の機関	地方	公共	民間	合計	持家	貸家	分譲	(マンショ)		
2022年度	83,679	29,180	54,500	148,026	47,264	860.8	248.1	347.4	259.5	113.9	-
2023年度	86,326	29,977	56,349	-	-	-	-	-	-	-	-
2023年 1-3月	18,891	8,106	10,785	47,112	14,866	201.7	52.5	81.3	66.8	33.1	876.2
4-6月	29,032	13,216	15,816	29,298	11,117	207.8	57.8	87.5	61.2	25.4	814.6
7-9月	22,520	5,517	17,003	37,261	10,032	207.5	61.2	89.3	55.8	21.8	796.5
10-12月	14,427	2,574	11,853	30,521	9,558	202.6	52.9	85.8	62.5	27.6	799.1
2024年 1-3月	20,348	8,671	11,677	-	-	-	-	-	-	-	-
2024年 1月	3,332	874	2,458	7,923	2,004	58.8	14.8	24.7	19.0	9.0	802.0
2月	5,808	2,769	3,039	11,551	3,806	59.2	16.3	24.9	17.3	7.5	794.7
3月	11,208	5,027	6,181	-	-	-	-	-	-	-	-
2022年度	▲2.1	▲0.3	▲3.0	2.4	8.2	▲0.6	▲11.8	5.0	4.5	10.8	-
2023年度	3.2	2.7	3.4	-	-	-	-	-	-	-	-
2023年 1-3月	16.2	38.8	3.6	8.8	6.9	0.6	▲8.9	3.0	6.5	20.8	2.9
4-6月	3.7	5.0	2.6	0.2	1.1	▲4.7	▲11.9	2.0	▲6.6	▲9.8	▲7.0
7-9月	▲1.9	▲5.4	▲0.6	▲7.5	▲5.8	▲7.7	▲8.6	▲2.6	▲13.5	▲19.6	▲2.2
10-12月	4.2	▲2.9	5.9	▲2.9	▲11.0	▲6.3	▲16.2	▲3.3	▲0.3	8.1	0.3
2024年 1-3月	7.7	7.0	8.3	-	-	-	-	-	-	-	-
2024年 1月	10.5	1.0	14.3	▲1.8	▲32.5	▲7.5	▲11.0	2.7	▲16.1	▲24.8	▲1.5
2月	▲3.7	▲15.1	9.8	▲7.2	▲25.3	▲8.2	▲11.2	1.0	▲17.7	▲23.3	▲0.9
3月	13.8	26.3	5.4	-	-	-	-	-	-	-	-
4月からの累計	86,326	29,977	56,349	116,554	36,518	735.9	203.0	312.2	215.9	91.3	-
前年同期	83,679	29,180	54,500	121,431	40,463	787.1	230.6	314.8	236.5	102.5	-
増減量	2,647	798	1,849	▲4,877	▲3,945	▲51.2	▲27.7	▲2.7	▲20.6	▲11.3	-
前年同期比	3.2	2.7	3.4	▲4.0	▲9.7	▲6.5	▲12.0	▲0.8	▲8.7	▲11.0	-

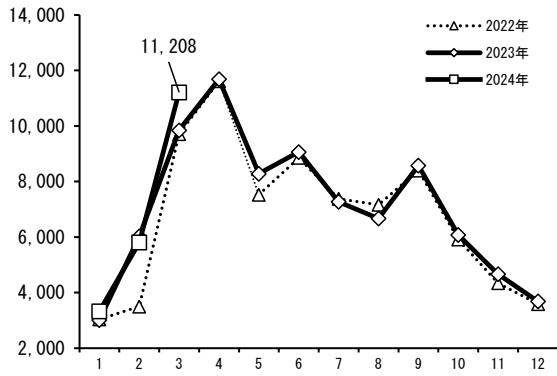
(出所) 保証事業者協会、国土交通省

(注) 1. 土木工事受注額の公共土木は公共工事計から教育病院・住宅宿舍・庁舎その他を除いたもの。

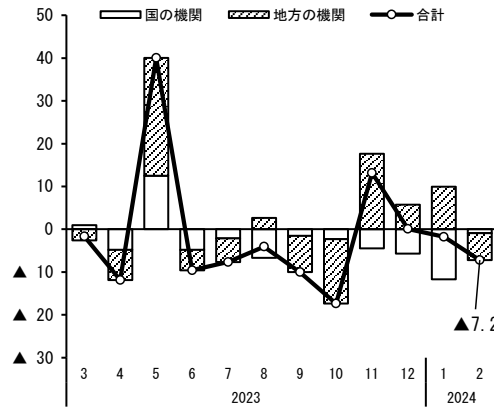
2. 年率換算着工戸数は前月(期)比増減率。

3. 土木工事受注額は、2021年4月より推計方法が変更されたため、それ以前とは接続しない。

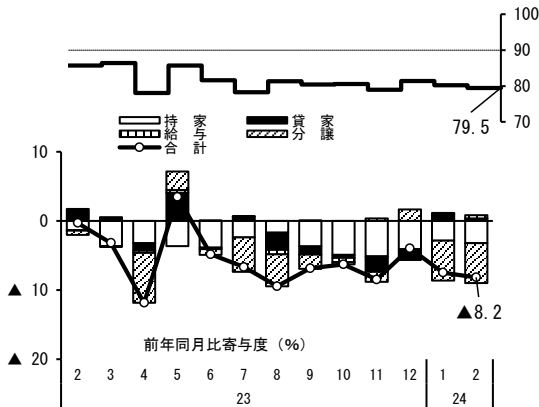
〔図7〕公共土木工事前払金保証請負金額（億円）



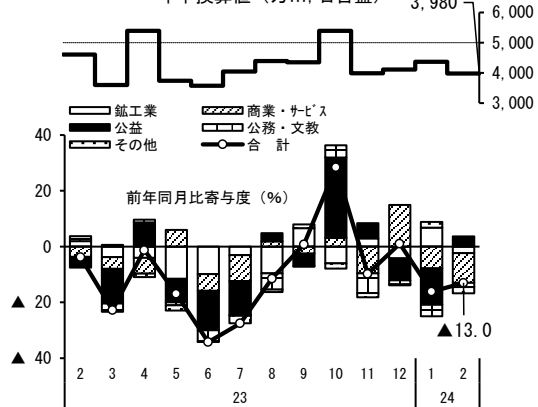
〔図8〕公共土木工事受注額（前年同月比寄与度・%）



〔図9〕新設住宅着工戸数
年率換算値（万戸、右目盛）



〔図10〕非住宅用途別着工床面積
年率換算値（万㎡、右目盛）



〔表1〕建設関連統計指標（続）

（単位：万㎡、%）

	建築着工床面積計											鋼構造建築着工床面積		
	居住用	非居住用	用途別				使 途 別				SRC	RC	S	
			(鉱工業)	(商業・サービス)	(公益事業)	(公務文教)	(事務所)	(店 舗)	(工 場)	(倉 庫)				
2021年度	12,247	7,441	4,806	952	1,720	1,120	723	759	419	724	1,339	197	2,129	4,558
2022年度	11,872	7,182	4,690	1,099	1,481	1,124	738	600	427	874	1,281	238	2,458	4,197
2022年10-12月	2,844	1,794	1,050	252	364	189	188	135	101	201	217	52	509	1,009
2023年 1- 3月	2,689	1,662	1,027	227	359	247	151	144	105	179	285	69	644	909
4- 6月	2,847	1,726	1,121	240	347	302	173	129	90	196	341	53	617	978
7- 9月	2,777	1,702	1,075	238	329	263	183	125	96	174	293	48	555	924
10-12月	2,808	1,687	1,122	227	392	285	174	173	101	176	328	32	629	1,000
2023年 12月	871	529	343	76	150	57	46	90	30	56	70	8	179	321
2024年 1月	795	468	327	101	122	46	41	86	27	72	58	6	160	318
2月	778	467	310	73	77	107	42	35	21	55	107	5	148	297
2021年度	7.1	7.3	7.0	18.9	5.3	18.2	▲11.0	24.7	3.1	21.9	12.8	3.9	▲1.3	13.2
2022年度	▲3.1	▲3.5	▲2.4	15.4	▲13.9	0.4	2.0	▲20.9	1.9	20.7	▲4.3	21.0	15.4	▲7.9
2022年10-12月	▲13.5	▲5.9	▲24.0	▲7.9	▲34.7	▲35.7	2.5	▲52.8	▲7.6	3.9	▲45.5	▲28.6	1.9	▲22.6
2023年 1- 3月	▲2.7	▲2.6	▲2.9	0.1	11.7	▲20.2	▲2.8	26.2	9.9	▲0.1	▲14.3	44.4	18.1	▲11.7
4- 6月	▲11.1	▲6.4	▲17.4	▲31.8	▲8.6	▲16.3	▲9.4	▲13.9	▲21.1	▲33.0	▲18.3	▲27.1	▲6.7	▲16.4
7- 9月	▲11.5	▲9.6	▲14.3	▲11.1	▲12.7	▲19.7	▲12.2	▲27.3	▲9.5	▲13.6	▲18.7	7.7	▲13.7	▲16.6
10-12月	▲1.2	▲6.0	6.8	▲10.1	7.7	50.8	▲7.5	28.0	▲0.5	▲12.3	51.0	▲37.8	23.6	▲1.0
2023年 12月	▲2.9	▲5.2	1.0	▲15.7	50.6	▲32.0	▲9.7	152.6	▲16.9	▲18.4	▲21.2	▲42.5	5.3	0.6
2024年 1月	▲14.3	▲12.9	▲16.1	35.6	▲19.9	▲52.6	▲28.0	23.1	▲33.8	22.2	▲48.7	▲84.1	▲36.3	6.2
2月	▲13.7	▲14.2	▲13.0	▲10.4	▲32.9	14.0	▲11.0	▲3.0	▲36.8	▲16.6	▲6.1	▲5.4	▲23.9	▲13.4
4月からの累計	10,005	6,050	3,955	878	1,268	1,003	613	548	336	673	1,128	145	2,108	3,516
前年同期	11,012	6,603	4,410	1,027	1,390	1,068	691	563	396	819	1,224	215	2,258	3,930
増 減 量	▲1,007	▲553	▲454	▲149	▲121	▲65	▲78	▲15	▲61	▲147	▲95	▲70	▲149	▲414
前年同期比	▲9.1	▲8.4	▲10.3	▲14.5	▲8.7	▲6.1	▲11.3	▲2.6	▲15.4	▲17.9	▲7.8	▲32.5	▲6.6	▲10.5

＜自動車＞－2月の四輪車生産は2ヵ月連続のマイナス－

○3月の国内販売(輸入車除く)は前年同月比22.9%減の41.4万台と3ヵ月連続のマイナス

- ・ 3月の国内販売(輸入車除く)は、乗用車(22.0%減)は、普通車が2ヵ月連続、小型車が6ヵ月連続、軽が4ヵ月連続のマイナスとなり、全体では3ヵ月連続の減少となった。トラック(27.9%減)は、普通車が2ヵ月連続、小型車が3ヵ月連続、軽が10ヵ月連続のマイナスとなり、全体では3ヵ月連続の減少となった。バス(2.2%増)は、17ヵ月連続のプラス。四輪車計(輸入車除く)では、前年同月比22.9%減の41.4万台と3ヵ月連続のマイナスとなった。
- ・ 23年度計では、国内販売(輸入車除く)が全体で前年度比3.4%増の422万台、輸入車を含む国内販売計は同3.3%増の453万台と、いずれも2年連続のプラスとなった。

○2月の完成車輸出は前年同月比11.8%増の35.0万台と13ヵ月連続のプラス

- ・ 2月の完成車輸出は、アジア向け(3.1%減)、中近東向け(20.6%減)が減少したものの、欧州向け(44.9%増)、北米向け(18.7%増)、オセアニア向け(7.2%増)が増加したことから、全体では前年同月比11.8%増の35.0万台と13ヵ月連続のプラスとなった。
- ・ 3月の米国新車販売は、前年同月比4.7%増の144.8万台と20ヵ月連続のプラス。季調済・年率換算では1,549万台となった。また、2月の中国新車販売(中国汽车工业协会発表)は、前年同月比19.9%減の158万台と7ヵ月ぶりのマイナスとなった。

○2月の生産は前年同月比16.5%減の61.7万台と2ヵ月連続のマイナス

- ・ 2月の生産は、乗用車(11.5%減)は、普通車が14ヵ月ぶり、小型車と軽が3ヵ月連続のマイナスとなり、全体では2ヵ月連続で減少した。トラック(45.3%減)は、普通車と軽が9ヵ月連続、小型車が7ヵ月連続のマイナスとなったことから、全体では9ヵ月連続で減少した。四輪車計では前年同月比16.5%減の61.7万台と2ヵ月連続のマイナスとなった。

〔表2〕四輪車国内販売台数

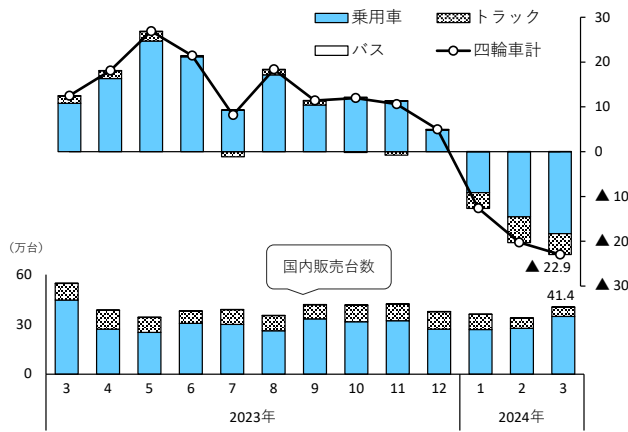
(単位：千台、%)

	四輪車計	国産車販売									輸 入	国 内 販 売 計
		乗用車	普通車	小型車	軽四輪	トラック	普通車	小型車	軽四輪	バ ス		
2022年度	4,078	3,338	1,203	862	1,272	734	114	200	420	6	308	4,386
P 2023年度	4,217	3,525	1,464	801	1,260	683	129	188	366	9	311	4,529
2023年 1-3月	1,301	1,083	433	265	385	216	36	62	119	2	80	1,382
4-6月	996	829	338	197	294	166	30	48	89	1	73	1,069
7-9月	1,079	896	362	212	322	181	36	50	95	2	78	1,157
10-12月	1,091	908	358	210	340	181	30	50	101	2	80	1,172
2024年P1-3月	1,051	893	407	183	303	155	33	41	81	3	80	1,131
2024年 1月	317	269	120	57	92	47	8	13	26	1	18	335
2月	321	276	124	56	96	44	10	11	22	1	24	345
P 3月	414	348	162	70	115	65	15	17	33	1	38	451
2022年度	4.8	5.2	10.2	▲4.0	7.7	3.1	▲15.8	▲1.5	12.4	▲3.9	▲5.4	4.0
2023年度	3.4	5.6	21.8	▲7.1	▲1.0	▲7.0	13.5	▲6.0	▲13.0	49.7	1.2	3.3
2023年 1-3月	16.7	18.3	35.2	2.9	14.1	9.4	11.6	14.3	6.3	23.2	▲2.5	15.4
4-6月	21.9	25.4	54.6	10.9	11.1	6.6	25.2	5.4	2.2	81.9	1.6	20.3
7-9月	12.3	14.6	26.8	5.2	9.4	1.5	28.1	8.8	▲8.9	64.9	6.1	11.8
10-12月	9.3	11.7	34.5	▲3.9	3.6	▲1.7	14.1	4.9	▲8.4	66.9	▲2.4	8.4
2024年 1-3月	▲19.2	▲17.5	▲5.9	▲31.2	▲21.2	▲28.2	▲6.3	▲33.6	▲31.9	19.8	▲0.1	▲18.1
2024年 1月	▲12.6	▲11.0	6.9	▲21.5	▲21.6	▲21.5	1.1	▲20.8	▲27.1	41.5	▲8.9	▲12.4
2月	▲20.2	▲17.5	▲7.6	▲30.5	▲19.8	▲34.6	▲3.2	▲40.4	▲40.5	33.5	▲1.9	▲19.2
3月	▲22.9	▲22.0	▲12.5	▲37.8	▲22.0	▲27.9	▲12.0	▲36.4	▲28.7	2.2	6.0	▲21.1
4月からの累計	4,217	3,525	1,464	801	1,260	683	129	188	366	9	311	4,529
前年同期	4,078	3,338	1,203	862	1,272	734	114	200	420	6	308	4,386
増 減 量	139	188	262	▲61	▲13	▲51	15	▲12	▲55	3	4	143
前年同期比	3.4	5.6	21.8	▲7.1	▲1.0	▲7.0	13.5	▲6.0	▲13.0	49.7	1.2	3.3

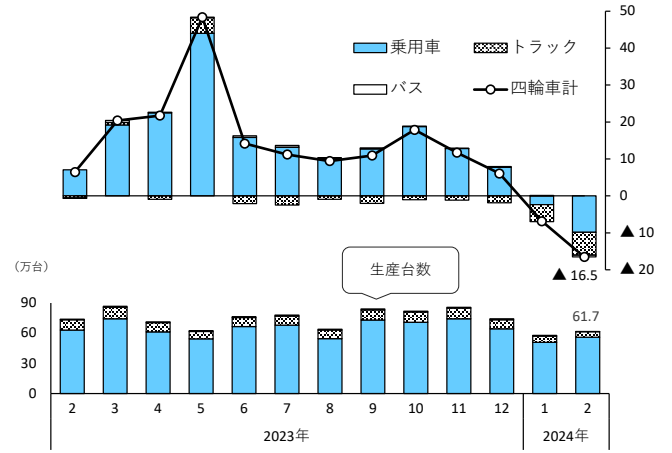
(出所) 日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会、日本自動車輸入組合

(注) 車種区分は、登録者は03年1月実績より、軽自動車は04年1月実績より、それぞれ従来のシャシーベースからナンバーベースへ変更された。

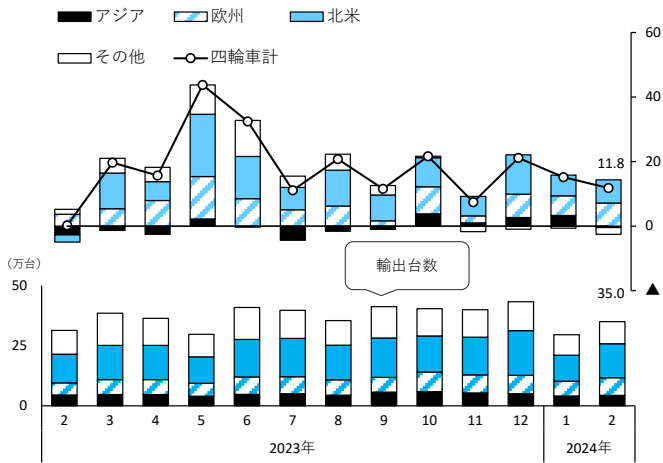
〔図11〕国産車販売台数、前年同月比寄与度(%)



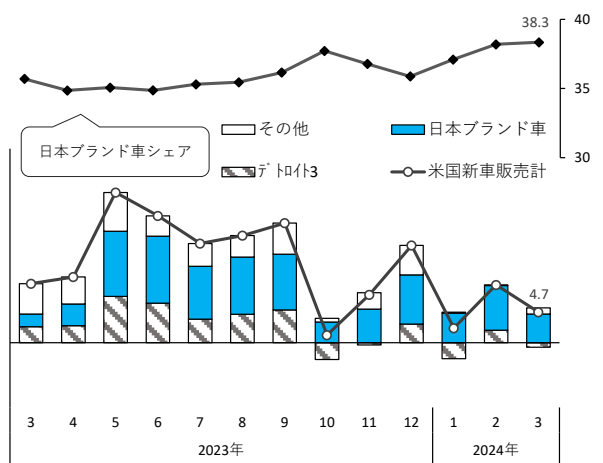
〔図12〕四輪車生産台数、前年同月比寄与度(%)



〔図13〕四輪車輸出台数、前年同月比寄与度(%)



〔図14〕米国新車販売台数、前年同月比寄与度(%)



〔表3〕四輪車仕向地別輸出・生産台数

(単位：千台、%)

	輸 出								生 産				米国新車販売台数
	合 計	アジア	中近東	欧州	(EU)	北 米	(米国)	オセアニア	四輪車計	乗用車+トラック	乗用車	トラック	
2021年度	3,684	589	332	544	285	1,442	1,288	429	7,545	7,470	6,340	1,130	15,003
2022年度	3,864	577	464	592	404	1,438	1,283	409	8,101	8,011	6,815	1,196	14,482
2022年10-12月	1,061	137	131	172	118	397	361	111	2,160	2,136	1,812	324	3,614
2023年 1-3月	954	124	131	159	109	352	304	99	2,225	2,200	1,897	303	3,581
4-6月	1,069	136	115	187	134	408	352	122	2,099	2,075	1,821	253	4,124
7-9月	1,163	152	122	195	136	466	404	122	2,257	2,229	1,953	276	3,986
10-12月	1,236	163	122	233	169	493	426	125	2,417	2,390	2,094	295	3,906
2023年 12月	433	50	43	77	54	186	160	43	741	733	642	91	1,470
2024年 1月	295	41	31	62	46	107	89	30	578	570	508	62	1,078
2月	350	44	32	73	53	142	121	34	617	613	558	55	1,248
2021年度	0.4	2.5	7.1	▲14.7	▲22.3	▲3.9	▲5.0	14.8	▲5.3	▲5.5	▲7.3	6.2	0.0
2022年度	4.9	▲2.0	39.9	8.9	41.8	▲0.3	▲0.4	▲4.7	7.4	7.2	7.5	5.8	▲3.5
2022年10-12月	9.3	▲4.7	70.4	8.2	39.6	2.9	2.3	▲0.6	9.0	8.8	8.0	13.6	9.4
2023年 1-3月	5.6	▲13.9	42.3	30.4	81.7	2.5	▲0.4	▲7.9	13.5	13.4	15.1	3.9	7.8
4-6月	28.9	▲3.1	20.8	72.4	83.8	31.8	26.9	32.7	25.4	25.4	30.1	▲0.5	17.4
7-9月	14.1	▲13.6	13.9	27.9	31.9	22.9	18.6	14.6	10.5	10.3	14.4	▲12.1	16.8
10-12月	16.5	19.0	▲6.8	36.0	42.8	24.2	18.0	12.7	11.9	11.9	15.6	▲8.9	8.1
2023年 12月	21.2	23.4	▲9.1	50.9	60.8	30.6	22.6	15.2	6.1	5.9	9.2	▲12.5	15.0
2024年 1月	15.2	26.0	1.8	33.6	58.0	18.3	9.6	1.4	▲6.8	▲7.1	▲2.8	▲31.8	2.3
2月	11.8	▲3.1	▲20.6	44.9	42.6	18.7	18.8	7.2	▲16.5	▲16.1	▲11.5	▲45.3	9.0
4月からの累計	4,114	535	423	751	538	1,616	1,392	433	7,967	7,877	6,935	941	14,341
前年同期	3,479	531	405	530	361	1,296	1,162	371	7,235	7,155	6,072	1,084	12,737
増 減 量	635	5	18	221	178	320	230	62	732	721	863	▲142	1,604
前年同期比	18.2	0.9	4.4	41.7	49.2	24.7	19.8	16.8	10.1	10.1	14.2	▲13.1	12.6

(出所) 日本自動車工業会、ウォード自動車情報社

(注) 四輪車生産台数の累計値は年初から最新月までの合計である。

<産業機械>

○2月の受注は前年同月比2.5%減と2ヵ月連続の減少

- ・官公需(1.7%増・2ヵ月連続)、外需(3.4%増・2ヵ月連続)が増加したものの、民需(10.5%減・2ヵ月連続)が減少した。外需では、産業機械(0.4%減・15ヵ月連続)が減少した一方、工作機械(3.5%増・5ヵ月ぶり)、原動機(26.5%増・3ヵ月連続)が増加した。

○2月の生産用機械工業の生産は前年同月比10.4%減と2ヵ月ぶりの減少。また、汎用・業務用機械工業の生産は同5.5%減と2ヵ月連続の減少。

- ・生産用機械工業の生産を機種別にみると、化学機械(0.6%増・2ヵ月連続)が増加したものの、金属加工・工作機械(20.9%減・7ヵ月連続)、建設・鉱山機械(7.2%減・2ヵ月ぶり)、農業用機械(1.0%減・2ヵ月ぶり)が減少し、全体では前年同月比10.4%減と2ヵ月ぶりの減少となった。
- ・汎用・業務用機械工業の生産を機種別にみると、冷凍機・温湿調整装置(4.5%増・5ヵ月連続)が増加したものの、運搬装置(5.8%減・4ヵ月ぶり)、ボイラ・原動機(6.3%減・2ヵ月連続)が減少し、全体では前年同月比5.5%減と2ヵ月連続の減少となった。

<電気機械>

○2月の生産は、前年同月比2.8%減と4ヵ月連続の減少

- ・重電機は、前年同月比6.4%減と8ヵ月連続の減少となった。品目別には、静止電機(2.9%増・2ヵ月ぶり)が増加したものの、回転電機(10.5%減・8ヵ月連続)、開閉制御装置(7.3%減・4ヵ月連続)が減少した。
- ・家庭用電気機器は、民生用電機(3.9%減・9ヵ月連続)、民生用電子(1.1%減・2ヵ月連続)がともに減少したことから、全体では前年同月比2.8%減と2ヵ月連続の減少となった。

<造船>3月の手持工事量は前月末比0.2%増の2,763万G/Tと2ヵ月連続の増加

- 2月の起工量は前年同月比48.8%減の57万G/Tとなった。
- 3月の輸出船契約量は前年同月比16.1%増の114万G/Tと2ヵ月連続の増加となった。
2023年度は前年度比12.2%減の1,170万G/Tと2年連続の減少となった。
- 3月末の手持工事量は前月末比0.2%増の2,763万G/Tと2ヵ月連続の増加となった。

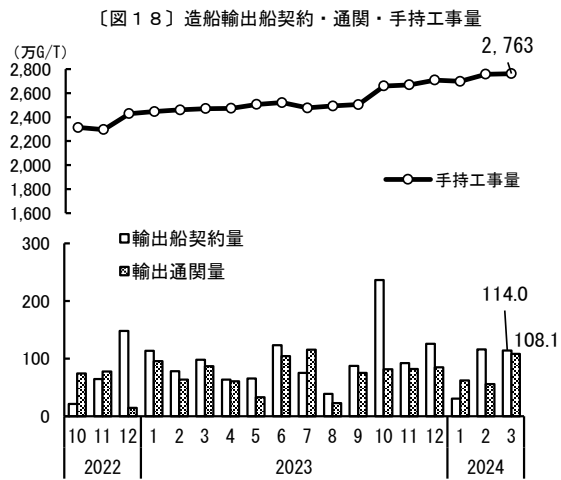
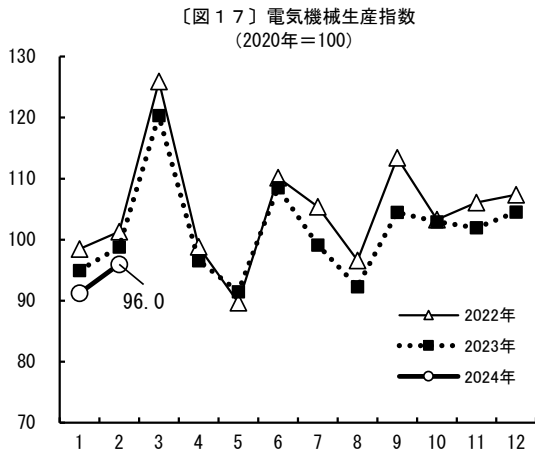
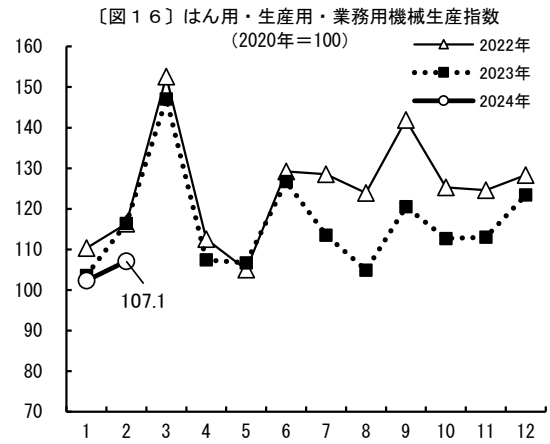
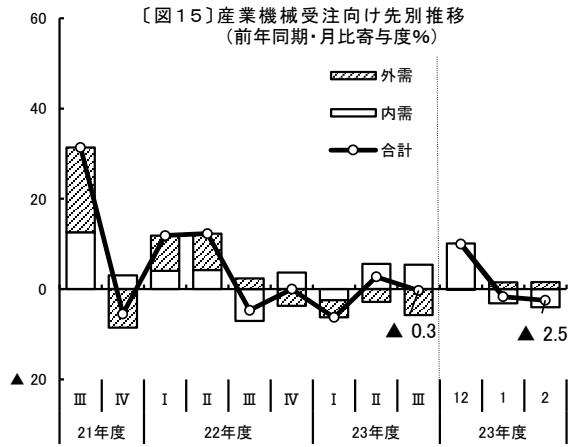
[表4] 産業機械活動水準

(単位:億円、IIP<20年=100>、%)

	受注額				IIP								
	合計	民需	官公需	外需	生産用 機械工業	農業用 機械	建設・鉱山 機械	化学機械	金属加工 工作機械	汎用・業務用 機械工業	ボイラ・ 原動機	運搬装置	冷凍機・温湿 調整装置
2021年度	135,689	55,995	7,987	66,606	124.7	121.4	124.9	88.8	123.6	112.9	111.9	104.0	112.7
2022年度	141,625	57,065	8,376	71,068	132.7	108.3	126.6	103.9	142.9	114.7	120.4	101.8	112.2
2022年10-12月	33,877	12,556	1,732	18,242	134.8	110.3	142.8	106.0	143.8	116.8	112.4	108.5	113.6
2023年1-3月	37,358	16,174	2,509	17,500	129.9	96.1	129.7	98.7	151.4	115.1	117.9	110.5	107.6
4-6月	32,645	13,114	1,972	16,338	118.8	103.8	132.9	90.6	138.0	108.5	96.3	94.3	109.8
7-9月	36,547	16,044	2,554	16,663	116.9	95.9	132.7	88.5	136.4	109.7	110.0	98.2	107.3
10-12月	33,778	14,213	1,874	16,307	116.7	80.7	135.3	100.6	133.7	116.0	125.6	118.0	117.9
2023年12月	13,764	6,185	811	6,301	126.8	77.2	129.2	103.2	143.4	119.5	133.3	133.6	106.1
2024年1月	9,725	3,578	447	5,333	107.6	79.8	117.7	69.9	111.5	96.7	77.5	114.8	94.6
2月	10,863	4,193	1,016	5,252	110.6	93.3	122.2	87.8	119.0	103.4	95.5	83.7	113.2
2021年度	18.0	13.5	3.3	25.1	20.8	19.8	24.4	▲16.4	24.8	13.6	16.3	7.8	11.1
2022年度	4.4	1.9	4.9	6.7	6.4	▲10.8	1.3	17.0	15.7	1.5	7.6	▲2.1	▲0.4
2022年10-12月	▲4.7	▲14.0	▲21.5	4.8	5.5	▲4.5	9.5	15.1	21.0	2.1	▲1.3	▲1.3	1.9
2023年1-3月	0.0	6.1	25.2	▲7.3	▲3.7	▲23.7	▲0.7	7.4	7.5	▲2.0	10.2	▲17.3	▲6.8
4-6月	▲6.2	▲6.7	6.2	▲7.5	▲3.0	▲2.0	21.7	9.9	4.6	0.2	▲14.6	19.3	▲1.8
7-9月	2.7	12.3	12.2	▲5.7	▲18.6	▲20.7	6.5	▲31.0	▲5.6	▲7.4	▲20.6	▲10.1	▲7.4
10-12月	▲0.3	13.2	8.1	▲10.6	▲13.5	▲26.8	▲5.3	▲5.1	▲7.1	▲0.7	11.7	8.8	3.8
2023年12月	10.0	26.4	▲7.8	▲0.4	▲11.3	▲19.8	▲6.2	▲24.2	▲2.8	5.9	16.9	43.0	0.4
2024年1月	▲1.7	▲11.1	33.1	2.8	2.9	2.6	7.3	9.0	▲14.2	▲6.6	▲11.4	0.8	0.5
2月	▲2.5	▲10.5	1.7	3.4	▲10.4	▲1.0	▲7.2	0.6	▲20.9	▲5.5	▲6.3	▲5.8	4.5
4月からの累計	123,557	51,141	7,862	59,894	115.9	92.2	131.1	90.6	132.3	109.3	106.2	102.8	110.3
前年同期	125,294	49,599	7,201	63,832	130.1	107.6	124.7	100.2	140.1	113.0	116.4	99.4	111.5
増減量	▲1,737	1,542	661	▲3,938	-	-	-	-	-	-	-	-	-
前年同期比	▲1.4	3.1	9.2	▲6.2	▲10.9	▲14.3	5.2	▲9.5	▲5.6	▲3.3	▲8.7	3.4	▲1.1

(出所) 経済産業省、内閣府

(注) 受注額は内閣府「機械受注実績」の原動機+産業機械+工作機械。



〔表5〕 電気機械、造船活動水準

(単位: IIP<20年=100>・%、千G/T、%)

	I I P						造 船					
	電気機械	重電機	家庭用 電気機器	民生用電機	民生用電子	通信機械	電 子 部 品	起工量	竣工量	輸出船 契約量	輸出通関 実績	手持ち 工事量
2022年度	103.7	107.6	97.2	99.1	94.1	88.1	79.2	8,784	9,093	13,326	8,382	24,713
2023年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11,699	8,877	27,629
2023年 1-3月	104.7	116.5	97.8	93.3	105.2	109.4	61.7	2,495	2,643	2,904	2,466	24,713
4-6月	98.9	100.5	109.1	111.4	105.2	69.7	75.6	2,015	1,962	2,526	1,986	25,207
7-9月	99.1	100.8	87.6	76.2	106.7	66.9	86.0	2,172	2,280	2,017	2,139	25,051
10-12月	104.1	105.5	96.4	87.6	111.2	68.8	84.0	2,427	2,677	4,547	2,488	27,094
2024年 1-3月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,609	2,264	27,629
2024年 1月	91.2	85.0	88.2	83.1	96.8	75.5	72.8	672	749	307	625	26,979
2月	96.0	98.7	93.1	88.4	101.0	80.3	72.4	570	579	1,161	557	27,577
3月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1,140	1,081	27,629
2022年度	▲3.3	2.2	4.6	5.2	3.7	▲2.8	▲25.8	0.7	▲7.9	▲9.1	▲9.4	23.7
2023年度	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲12.2	5.9	11.8
2023年 1-3月	▲3.6	1.6	5.5	▲1.6	18.2	18.3	▲34.1	14.0	▲2.5	4.4	1.9	1.7
4-6月	▲0.6	3.0	14.4	6.1	32.9	▲4.8	▲17.1	▲15.8	▲10.1	▲58.7	16.0	2.0
7-9月	▲5.7	▲5.5	▲11.3	▲25.9	16.5	▲19.3	▲1.5	17.1	1.0	2.8	▲15.4	▲0.6
10-12月	▲1.4	▲3.8	▲0.6	▲7.8	10.8	▲20.7	9.3	18.9	33.3	93.6	48.5	8.2
2024年 1-3月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	▲10.2	▲8.2	2.0
2024年 1月	▲3.9	▲13.1	▲1.9	▲1.9	▲1.9	▲5.5	13.2	▲11.9	▲23.3	▲73.0	▲34.7	▲0.4
2月	▲2.8	▲6.4	▲2.8	▲3.9	▲1.1	▲13.8	29.3	▲48.8	▲12.0	48.2	▲12.5	2.2
3月	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.1	24.1	0.2
4月からの累計	99.4	100.4	96.4	90.7	106.1	70.2	80.2	7,856	8,246	11,699	8,877	-
前年同期	102.2	104.1	96.3	98.7	92.2	82.0	80.6	8,166	8,084	13,326	8,382	-
増減量	-	-	-	-	-	-	-	▲310	162	▲1,627	495	-
前年同期比	▲2.7	▲3.6	0.2	▲8.1	15.1	▲14.4	▲0.5	▲3.8	2.0	▲12.2	5.9	-

(出所) 経済産業省、国土交通省、日本船舶輸出組合

(注) 1. 電気機械工業IIPは、電子部品・デバイス工業+電気・情報通信機械工業を加重平均したもの。

2. 民生用電機IIPは、家事用機器+空調・住宅関連機器を加重平均したもの。

3. 造船起工量、竣工量は速報で主要工場ベース。

4. 手持ち工事量は前月(期)末比増減率。

3. 鋼材受注

－2月の普通鋼鋼材受注（内需計）は、

前年同月比0.1%増の280万トンと5ヵ月連続の増加－

〇2月の普通鋼鋼材受注（内需計）は、前年同月比0.1%増の280万トンと5ヵ月連続の増加。

・建設用（3.2%減）は、土木（2.9%減・7ヵ月連続）、建築（3.7%減・2ヵ月ぶり）、その他建設（2.1%減・2ヵ月ぶり）が減少したことから、全体で3.2%の減少となった。

※その他建設用：建築物、建築用付属資材（配管・配線用、サッシ、シャッター等）、仮設材（足場鋼管、メタルフォーム等）など。

・製造業用（3.4%減）は、造船（4.8%増、2ヵ月ぶり）、電機（10.7%増・2ヵ月ぶり）が増加したものの、ウェイトが高い自動車（12.0%減・2ヵ月連続）、産機（3.3%減・21ヵ月連続）が減少したことから、全体では2ヵ月連続の減少となった。

・建設向けのウェイトが高い販売業者向け（7.6%増）は6ヵ月連続の増加となった。

・内需全体（0.1%増）では5ヵ月連続の増加となった。

・輸出向け（10.5%減）は3ヵ月連続の減少となった。

〇2月の特殊鋼鋼材受注（内需計）は、前年同月比4.1%減の79万トンと5ヵ月ぶりの減少。

・製造業用（4.4%減）は、産機（10.7%減・23ヵ月連続）、自動車（4.2%減・10ヵ月ぶり）、次工程（2.9%減・5ヵ月ぶり）が減少したことから、全体では5ヵ月ぶりの減少となった。

・内需全体（4.1%減）は5ヵ月ぶりの減少となった。

・輸出向け（2.6%減）は3ヵ月連続の減少となった。

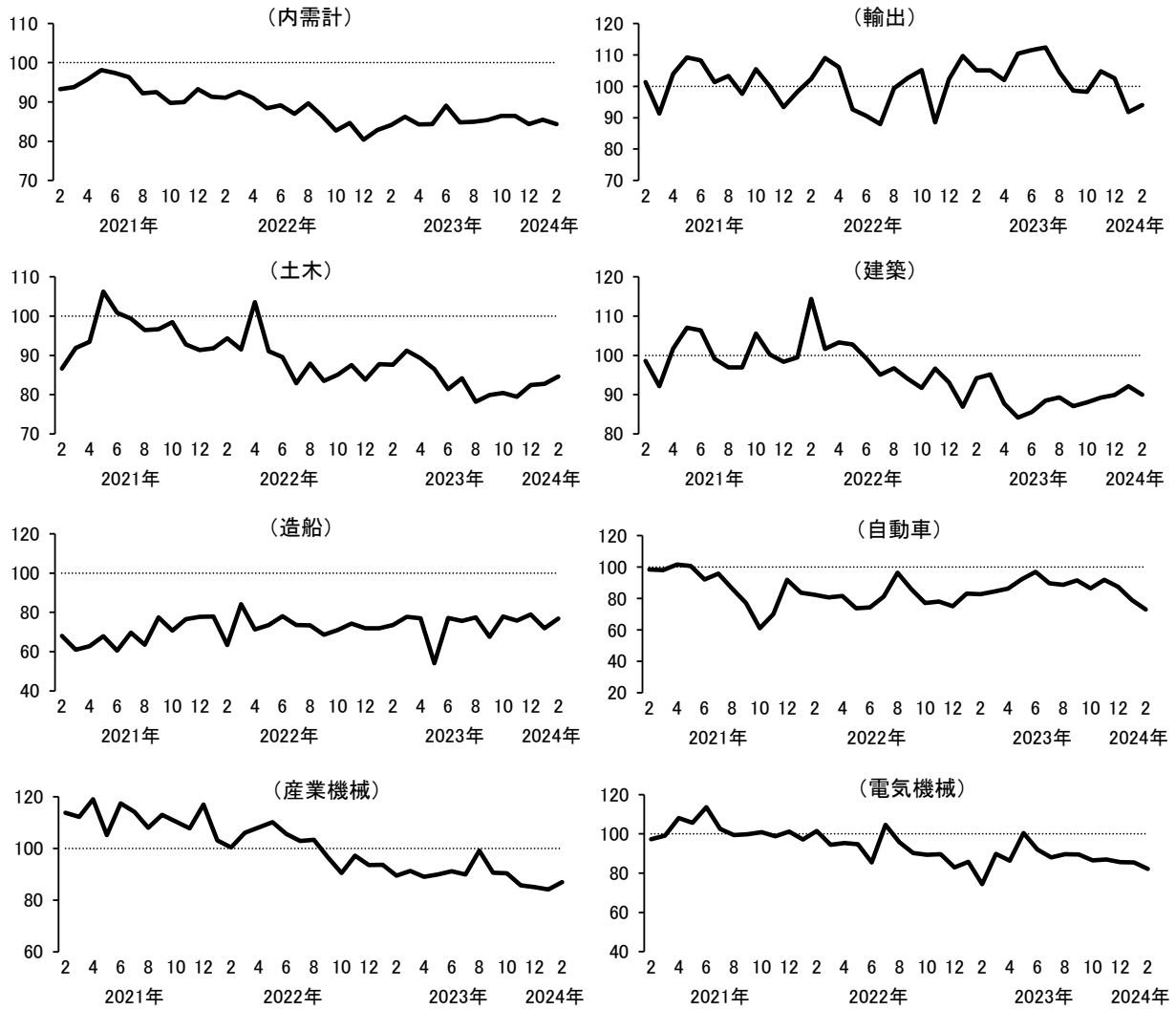
〔表6〕鋼材受注総括表

（単位：千トン、%）

	普通鋼鋼材										販売業者	内需計	輸出
	建設計				製造業計								
	土木	建築	その他建設	造船	自動車	産機	電機						
2021年度	10,479	2,051	6,047	2,382	15,747	2,752	7,085	1,555	1,519	12,088	38,314	22,453	
2022年度	9,463	1,887	5,662	1,914	14,747	2,834	6,789	1,389	1,338	11,097	35,307	21,782	
2022年10-12月	2,349	468	1,412	469	3,595	716	1,612	344	337	2,757	8,701	5,467	
2023年1-3月	2,256	468	1,352	437	3,653	707	1,782	312	312	2,733	8,643	5,927	
4-6月	2,196	451	1,286	459	3,637	670	1,759	322	341	2,815	8,648	5,875	
7-9月	2,146	432	1,273	441	3,906	711	1,976	322	323	2,645	8,697	5,578	
10-12月	2,256	442	1,342	471	3,853	771	1,849	320	333	2,916	9,025	5,636	
2023年12月	728	143	428	157	1,356	301	631	106	110	953	3,037	1,936	
2024年1月	693	140	402	151	1,230	219	624	95	107	939	2,862	1,595	
2月	702	136	423	143	1,150	250	507	94	106	942	2,795	1,659	
2021年度	3.9	▲2.7	3.2	12.3	6.5	▲3.3	3.8	20.9	18.8	7.5	6.1	9.4	
2022年度	▲9.7	▲8.0	▲6.4	▲19.6	▲6.3	3.0	▲4.2	▲10.7	▲11.9	▲8.2	▲7.8	▲3.0	
2022年10-12月	▲12.0	▲9.5	▲7.6	▲24.8	▲5.3	▲3.1	1.9	▲16.3	▲13.1	▲12.5	▲9.5	▲0.6	
2023年1-3月	▲11.5	▲3.6	▲12.1	▲17.2	▲5.6	▲1.0	1.5	▲11.8	▲15.1	▲7.9	▲8.0	3.0	
4-6月	▲13.1	▲9.4	▲15.4	▲10.2	2.4	▲6.4	19.9	▲16.4	1.2	▲3.7	▲3.9	11.3	
7-9月	▲7.8	▲4.7	▲7.6	▲11.2	▲1.1	2.3	2.6	▲7.5	▲8.1	▲1.5	▲3.0	9.1	
10-12月	▲4.0	▲5.5	▲5.0	0.5	7.2	7.6	14.7	▲7.0	▲1.0	5.8	3.7	3.1	
2023年12月	▲2.6	▲2.0	▲3.6	▲0.4	9.1	10.4	15.8	▲9.1	2.6	5.4	4.9	▲0.5	
2024年1月	3.4	▲5.8	5.2	8.3	▲3.1	▲0.6	▲4.6	▲10.5	▲0.7	11.5	2.9	▲16.5	
2月	▲3.2	▲2.9	▲3.7	▲2.1	▲3.4	4.8	▲12.0	▲3.3	10.7	7.6	0.1	▲10.5	
4月からの累計	7,994	1,601	4,727	1,666	13,776	2,620	6,715	1,152	1,211	10,258	32,028	20,343	
前年同期	8,603	1,707	5,133	1,763	13,553	2,585	6,237	1,281	1,229	10,082	32,238	19,619	
増減量	▲609	▲106	▲405	▲97	223	35	478	▲128	▲19	176	▲210	723	
前年同期比	▲7.1	▲6.2	▲7.9	▲5.5	1.6	1.4	7.7	▲10.0	▲1.5	1.7	▲0.7	3.7	

（出所）日本鉄鋼連盟

[図19] 普通鋼鋼材受注推移 (季節調整済指数、2019年=100)



	特 殊 鋼 鋼 材							(単位:千トン,%)	
	製造業計	産 機			販売業者	内需計	輸出	鋼 材 合 計	
		産 機	自動車	次工程				内需計	輸出計
2021年度	10,345	1,623	4,328	3,858	1,107	11,803	4,742	50,117	27,195
2022年度	8,986	1,434	3,818	3,269	896	10,177	4,348	45,483	26,130
2022年10-12月	2,191	346	931	804	215	2,477	1,080	11,178	6,547
2023年 1-3月	2,222	364	963	789	208	2,499	1,045	11,142	6,972
4-6月	2,279	330	1,027	818	206	2,552	1,005	11,201	6,880
7-9月	2,400	320	1,154	826	185	2,656	1,059	11,352	6,638
10-12月	2,334	302	1,114	819	197	2,609	986	11,634	6,622
2023年 12月	790	101	370	283	65	882	316	3,919	2,252
2024年 1月	739	94	352	258	66	831	287	3,693	1,881
2月	695	94	306	261	69	787	291	3,582	1,950
2021年度	17.7	31.1	11.1	21.2	29.9	18.2	13.5	8.7	10.1
2022年度	▲13.1	▲11.6	▲11.8	▲15.3	▲19.1	▲13.8	▲8.3	▲9.2	▲3.9
2022年10-12月	▲12.8	▲14.3	▲9.7	▲15.2	▲24.6	▲14.1	0.6	▲10.6	▲0.4
2023年 1-3月	▲10.3	▲8.3	▲8.8	▲12.1	▲20.3	▲11.6	▲13.9	▲8.8	0.1
4-6月	▲0.2	▲10.2	11.3	▲4.6	▲20.1	▲2.6	▲13.7	▲3.6	6.8
7-9月	4.9	▲10.5	15.1	1.1	▲14.3	3.0	▲0.0	▲1.6	7.6
10-12月	6.6	▲12.8	19.7	1.8	▲8.1	5.3	▲8.7	4.1	1.1
2023年 12月	9.2	▲5.6	21.6	3.0	▲7.9	8.2	▲12.9	5.6	▲2.4
2024年 1月	0.3	▲20.3	7.4	1.0	▲4.3	0.4	▲14.9	2.3	▲16.3
2月	▲4.4	▲10.7	▲4.2	▲2.9	0.1	▲4.1	▲2.6	▲0.8	▲9.4
4月からの累計	8,448	1,140	3,952	2,982	723	9,435	3,628	41,462	23,970
前年同期	8,229	1,295	3,502	3,004	825	9,326	3,939	41,564	23,558
増 減 量	219	▲155	450	▲22	▲103	109	▲311	▲101	412
前年同期比	2.7	▲12.0	12.9	▲0.7	▲12.5	1.2	▲7.9	▲0.2	1.7

－3月の粗鋼生産(速報)は、前年同月比3.9%減の720万トン

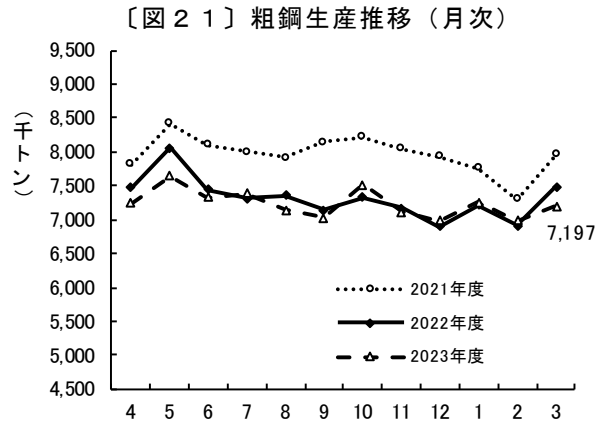
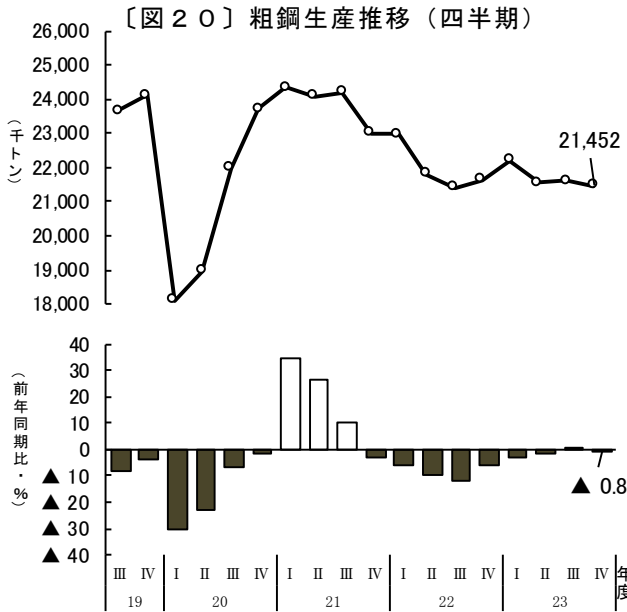
4. 鉄鋼需給(生産・出荷・在庫)

と4ヵ月ぶりの減少、

2023年度の粗鋼生産は前年比1.1%減と2年連続の減少－

○粗鋼生産・普通鋼鋼材生産、普通鋼鋼材出荷・在庫動向

- ・3月の粗鋼生産(速報)は、前年同月比3.9%減の720万トンと4ヵ月ぶりの減少となった。
- ・2023年度の粗鋼生産(速報)は、前年度比1.1%減の8,683万トンと2年連続の減少となった。
- ・3月の普通鋼鋼材生産(速報)は、前年同月比8.9%減の496万トンと4ヵ月ぶりの減少となった。
- ・2月の普通鋼鋼材国内向け出荷は、前年同月比0.8%減の294万トンと2ヵ月連続の減少となった。輸出向け出荷は同15.4%減の160万トンと2ヵ月ぶりの減少となった。
- ・2月末の普通鋼鋼材国内向け在庫は、前月末比2.9万トン増の538万トンと2ヵ月連続の増加となった。なお、在庫率は前月末比7.7ポイント低下の183.1%となった。



(万トン)	粗鋼		
	需要量見通し	生産計画	実績
2023年10月～12月	2,233	2,236	2,161
2024年1月～3月	2,198	2,195	2,145
2024年4月～6月	2,172		

〔表7〕鉄鋼需給総括表

(単位:千トン、%)

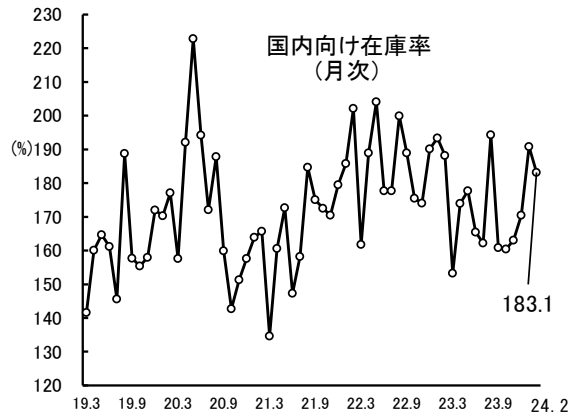
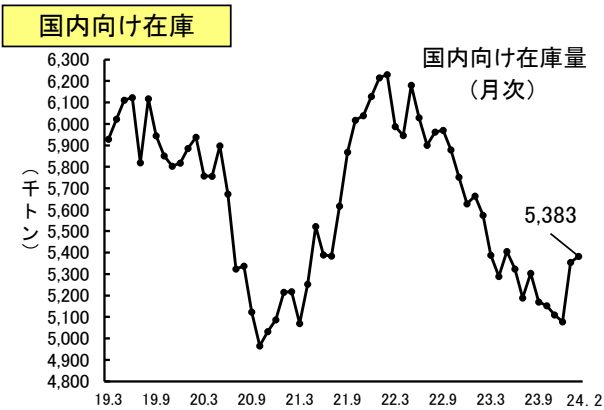
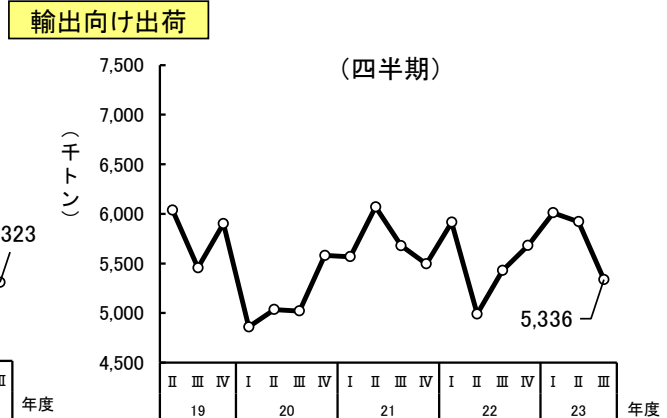
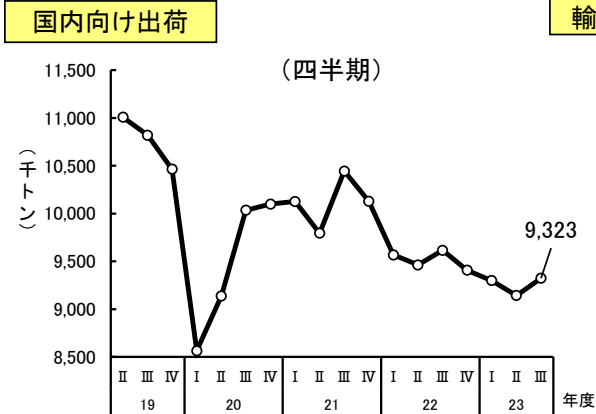
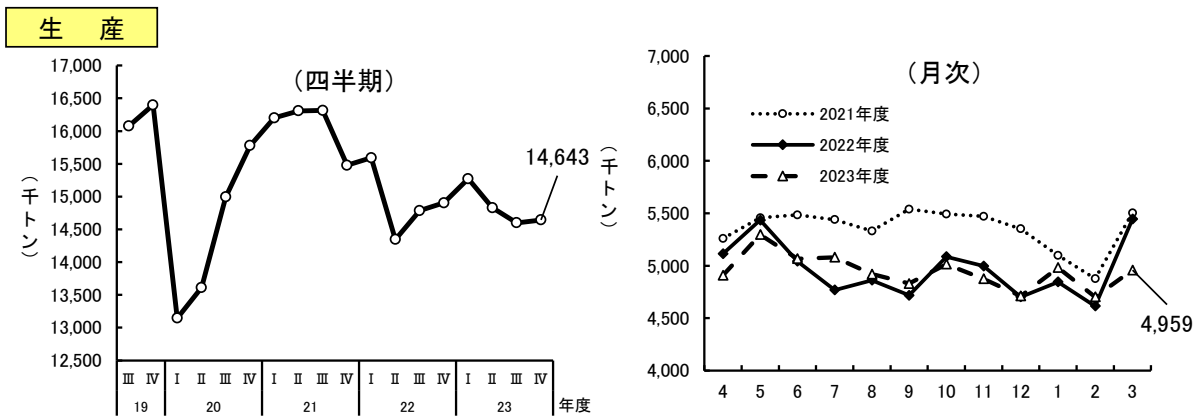
	粗鋼生産			鋼材生産		普通鋼鋼材出荷			普通鋼鋼材在庫		
	合計	転炉鋼	電炉鋼	普通鋼	特殊鋼	計	国内	輸出	計	国内	在庫率
2022年度	87,837	64,326	23,511	59,629	15,334	60,064	38,051	22,013	6,402	5,388	153.3
P 2023年度	86,828	63,849	22,979	59,346	-	-	-	-	-	-	-
2023年 1-3月	21,623	16,012	5,611	14,905	3,685	15,086	9,406	5,680	6,402	5,388	171.9
4-6月	22,214	16,198	6,015	15,273	3,684	15,309	9,299	6,010	6,366	5,323	171.7
7-9月	21,557	16,263	5,295	14,830	3,853	15,063	9,143	5,921	6,133	5,169	169.6
10-12月	21,605	15,694	5,911	14,600	3,733	14,660	9,323	5,336	6,073	5,078	163.4
2024年P1-3月	21,452	15,695	5,758	14,643	-	-	-	-	-	-	-
2024年 1月	7,264	5,427	1,837	4,982	1,231	4,607	2,807	1,801	6,447	5,355	190.8
2月	6,992	5,123	1,869	4,702	1,176	4,542	2,940	1,602	6,607	5,383	183.1
P 3月	7,197	5,144	2,052	4,959	-	-	-	-	-	-	-
2022年度	▲8.2	▲9.6	▲4.0	▲7.3	▲10.8	▲5.1	▲6.0	▲3.5	▲436	▲599	-
2023年度	▲1.1	▲0.7	▲2.3	▲0.5	-	-	-	-	-	-	-
2023年 1-3月	▲6.0	▲6.2	▲5.5	▲3.7	▲10.9	▲3.4	▲7.1	3.4	▲181	▲239	-
4-6月	▲3.4	▲3.0	▲4.3	▲2.0	▲6.1	▲1.1	▲2.8	1.6	▲36	▲65	-
7-9月	▲1.2	1.2	▲8.0	3.4	▲0.5	4.2	▲3.4	18.7	▲233	▲154	-
10-12月	0.9	0.9	0.9	▲1.3	▲3.2	▲2.6	▲3.0	▲1.7	▲60	▲97	-
2024年 1-3月	▲0.8	▲2.0	2.6	▲1.8	-	-	-	-	-	-	-
2024年 1月	0.6	▲0.1	2.6	2.8	1.0	▲0.3	▲4.2	6.4	374	277	-
2月	1.1	1.4	0.2	1.9	▲0.4	▲6.5	▲0.8	▲15.4	160	29	-
3月	▲3.9	▲7.0	4.9	▲8.9	-	-	-	-	-	-	-
4月からの累計	86,828	63,849	22,979	59,346	13,676	54,181	33,512	20,670	-	-	-
前年同期	87,837	64,326	23,511	59,629	14,048	54,455	34,536	19,918	-	-	-
増減量	▲1,009	▲477	▲532	▲283	▲372	▲273	▲1,024	751	-	-	-
前年同期比	▲1.1	▲0.7	▲2.3	▲0.5	▲2.6	▲0.5	▲3.0	3.8	-	-	-

(出所) 経済産業省、日本鉄鋼連盟 (注) 在庫は前月(期)末比増減量

〔図22-1〕 粗鋼生産の推移



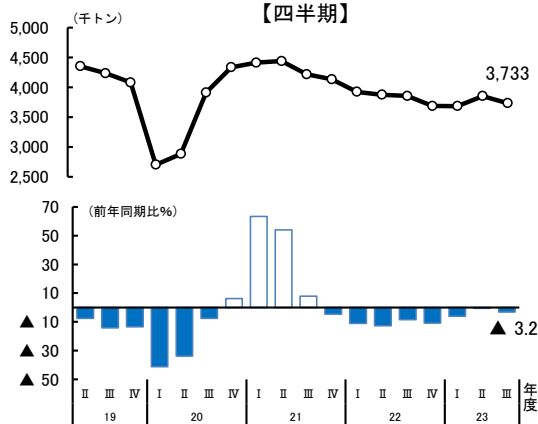
〔図22-2〕 普通鋼鋼材需給



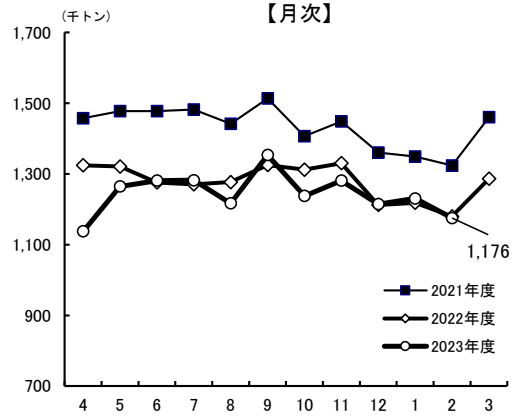
○生産、出荷、在庫動向

- ・ 2月の特殊鋼鋼材生産は、前年同月比0.4%減の118万トンと3ヵ月ぶりの減少となった。
鋼種別には、高抗張力鋼（同15.3%増）、ステンレス鋼（同2.7%増）が増加したものの、工具鋼（同7.9%減）、機械構造用炭素鋼（同11.9%減）、構造用合金鋼（同6.4%減）、ばね鋼（同2.1%減）が減少した。
- ・ 2月の特殊鋼鋼材出荷は、輸出向け（同5.1%減、32万トン・4ヵ月ぶり）、国内向け（同6.3%減、83万トン・2ヵ月連続）が減少し、合計（同6.0%減、115万トン）では2ヵ月連続の減少となった。
- ・ 2月末の特殊鋼鋼材在庫は、前月末比1.9万トン増の178万トンとなった。なお、在庫率は2.4ポイント上昇の155.1%となった。

〔図23〕特殊鋼鋼材生産推移



〔図24〕特殊鋼鋼材生産推移



〔表8〕特殊鋼鋼材需給表

	生産	出荷		在庫	鋼種別生産							
		計	国内		輸出	在庫率	工具鋼	SC	AL	ばね鋼	ステンレス	高抗張力鋼
2021年度	17,201	16,783	11,969	4,814	1,957	130.9	195	4,629	3,584	360	2,238	4,182
2022年度	15,334	15,263	10,884	4,379	1,728	129.9	155	3,981	3,231	312	2,043	3,956
2022年10-12月	3,855	3,852	2,789	1,063	1,822	141.9	39	1,023	833	81	520	944
2023年1-3月	3,685	3,726	2,716	1,011	1,728	139.1	31	971	774	75	465	985
4-6月	3,684	3,591	2,627	964	1,709	142.8	35	944	812	77	461	974
7-9月	3,853	3,736	2,697	1,039	1,729	138.8	25	974	821	76	465	1,098
10-12月	3,733	3,775	2,730	1,045	1,708	135.7	31	975	791	79	451	1,031
2023年12月	1,215	1,227	882	346	1,708	139.1	10	314	248	26	151	341
2024年1月	1,231	1,153	818	336	1,762	152.7	8	305	238	20	139	391
2月	1,176	1,148	830	318	1,780	155.1	10	282	233	26	156	344
2021年度	24.4	22.0	20.6	25.5	235	-	38.2	29.8	25.2	16.2	22.0	15.9
2022年度	▲10.8	▲9.1	▲9.1	▲9.0	▲229	-	▲20.4	▲14.0	▲9.9	▲13.4	▲8.7	▲5.4
2022年10-12月	▲8.6	▲6.8	▲5.4	▲10.3	▲28	-	▲25.6	▲8.3	▲3.6	▲2.7	▲7.3	▲9.5
2023年1-3月	▲10.9	▲9.2	▲8.7	▲10.7	▲94	-	▲37.6	▲13.1	▲10.9	▲9.3	▲16.3	▲0.5
4-6月	▲6.1	▲7.7	▲2.8	▲18.8	▲19	-	▲23.1	▲5.5	0.0	▲3.0	▲11.4	▲4.6
7-9月	▲0.5	▲1.5	0.7	▲7.0	20	-	▲37.6	▲1.3	1.0	▲1.4	▲13.5	9.0
10-12月	▲3.2	▲2.0	▲2.1	▲1.7	▲21	-	▲21.5	▲4.6	▲5.0	▲2.8	▲13.4	9.2
2023年12月	0.2	1.0	0.8	1.5	56	-	▲12.3	▲3.8	▲3.0	▲0.3	▲8.8	15.2
2024年1月	1.0	▲1.9	▲4.7	5.9	54	-	▲8.8	▲5.8	▲8.1	▲14.2	▲4.8	19.8
2月	▲0.4	▲6.0	▲6.3	▲5.1	19	-	▲7.9	▲11.9	▲6.4	▲2.1	2.7	15.3
4月からの累計	13,676	13,405	9,702	3,703	-	-	109	3,481	2,895	278	1,671	3,837
前年同期	14,048	13,933	9,913	4,020	-	-	144	3,653	2,966	287	1,876	3,595
増減量	▲372	▲528	▲211	▲318	-	-	▲36	▲173	▲70	▲10	▲204	241
前年同期比	▲2.6	▲3.8	▲2.1	▲7.9	-	-	▲24.6	▲4.7	▲2.4	▲3.3	▲10.9	6.7

（出所）経済産業省、日本鉄鋼連盟

（注）1. 在庫は前月（期）末比増減。

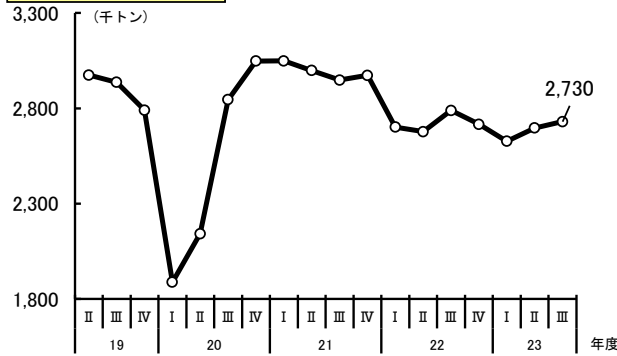
2. 生産は最終鋼材生産、出荷・メーカー在庫は外販用鋼材販売在庫調査、在庫はメーカー及び市中在庫合計。

3. SCは機械構造用炭素鋼、ALは構造用合金鋼。

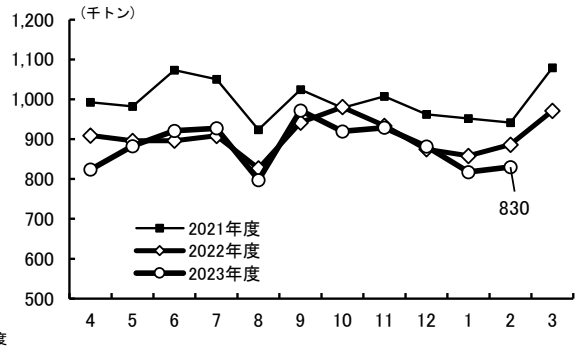
4. 生産については、2020年1月より、経済産業省の特殊鋼生産統計（最終鋼材）において鋼管が対象外とされたため、本表では業界自主統計より特殊鋼鋼管生産を加算して最終鋼材生産を算出している。

〔図 2 5〕 特殊鋼鋼材需給

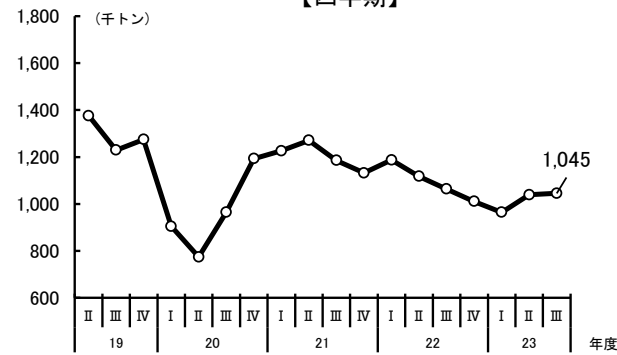
国内向け出荷



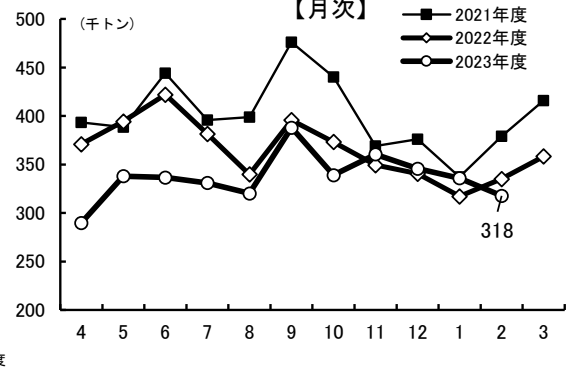
【月次】



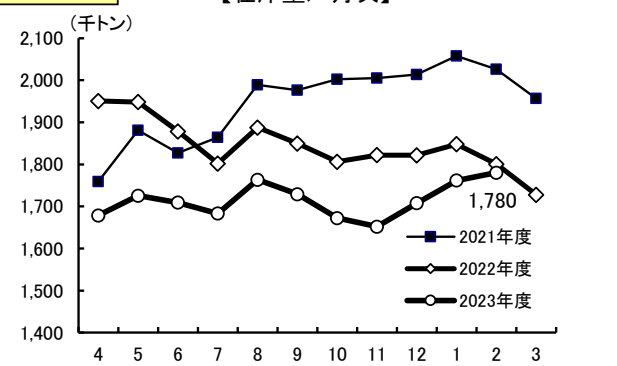
輸出向け出荷



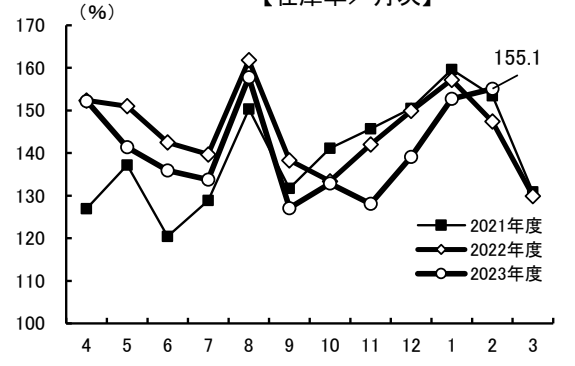
【月次】



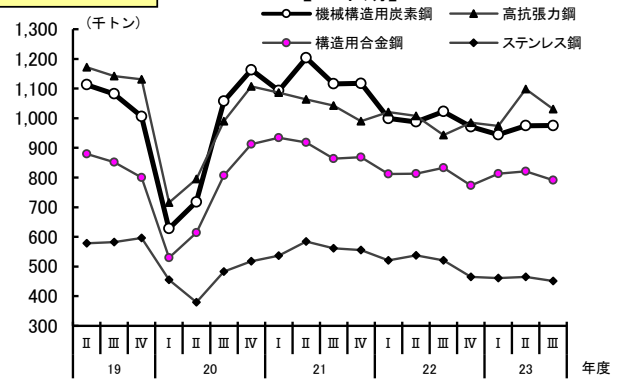
鋼材在庫



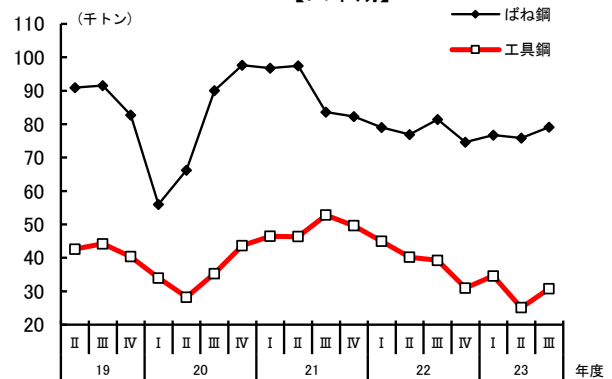
【在庫率/月次】



鋼種別生産



【四半期】



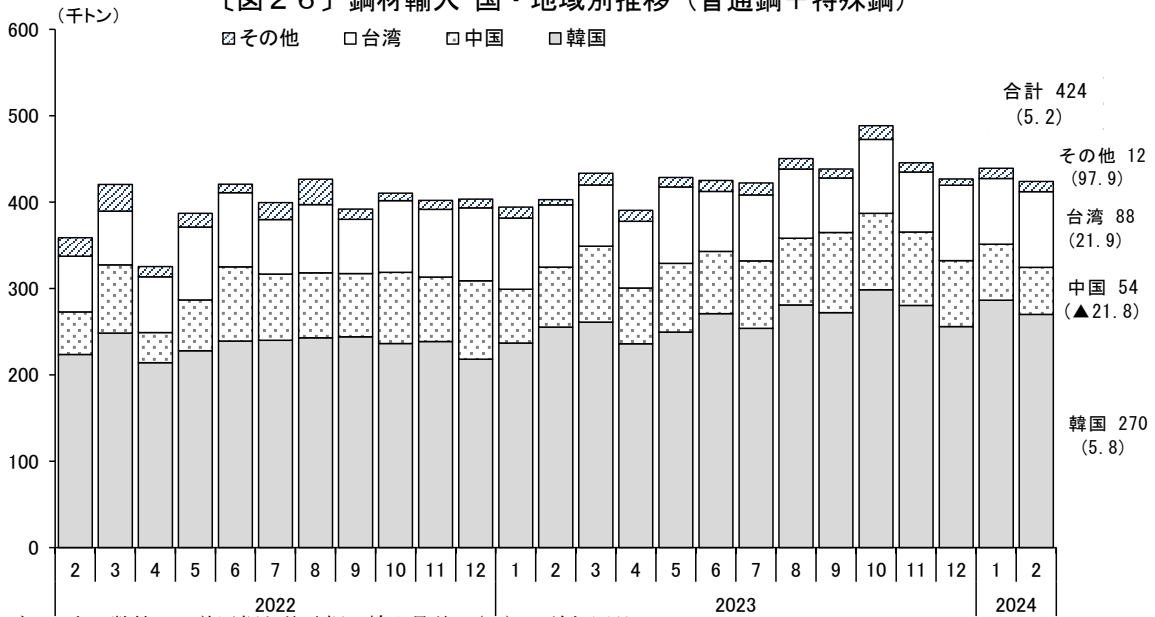
5. 鋼材輸入、鋼材流通

—2月の鋼材輸入は、前年同月比5.2%増の42万トンと13ヵ月連続の増加—

○ 2月の鋼材輸入の動向

- 2月の鋼材輸入(普通鋼+特殊鋼)は、前年同月比5.2%増の42万トンと13ヵ月連続の増加となった。国別では、中国(21.8%減・2ヵ月ぶり)が減少したものの、台湾(21.9%増・2ヵ月ぶり)、韓国(5.8%増・13ヵ月連続)が増加した。
- 鋼種別では、普通鋼(3.0%増)が15ヵ月連続、特殊鋼(33.3%増)が2ヵ月連続の増加となった。特殊鋼のうち、ステンレス鋼(63.4%増・3ヵ月連続)、その他合金鋼(1.8%増・2ヵ月連続)がともに増加した。

〔図26〕 鋼材輸入 国・地域別推移 (普通鋼+特殊鋼)



(注) 棒グラフ上の数値は、普通鋼と特殊鋼の輸入量計。() は前年同月比。

〔表9〕 普通鋼 鋼材 輸入

(単位:千トン、%)

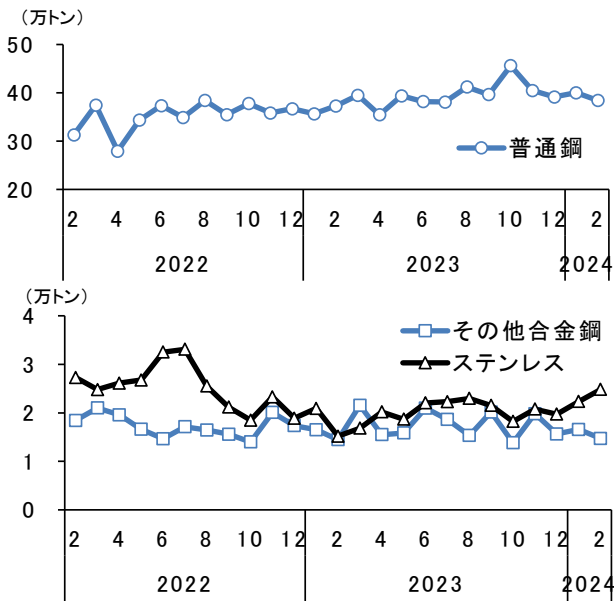
	鋼材輸入 合計 (普通鋼+特殊鋼)	普通鋼鋼材輸入							国 別			
		合 計	線 材	厚中板	熱延薄板類	冷延薄板類	亜 鉛 め っき 鋼 板	その他	韓国	台湾	中国	その他
2021年度	4,703	4,150	318	415	1,228	870	899	420	2,627	702	573	249
2022年度	4,797	4,314	303	389	1,397	813	991	420	2,672	836	693	113
2022年10-12月	1,216	1,104	54	94	362	211	265	117	658	233	195	17
2023年 1- 3月	1,230	1,125	81	113	333	213	280	105	714	206	182	23
4- 6月	1,244	1,131	61	107	359	216	271	116	705	219	180	27
7- 9月	1,311	1,190	74	105	360	221	307	123	742	204	217	28
10-12月	1,361	1,253	58	107	384	235	350	120	785	227	215	26
2023年 12月	427	391	15	38	116	79	111	32	238	83	65	5
2024年 1月	439	400	20	33	125	77	105	39	266	71	54	9
2月	424	384	18	40	115	75	101	34	251	81	42	9
2021年度	2.5	4.1	26.4	▲20.4	▲0.5	21.7	10.6	▲7.3	▲2.3	▲13.5	60.0	91.4
2022年度	2.0	3.9	▲4.6	▲6.4	13.8	▲6.6	10.3	0.1	1.7	19.0	20.9	▲54.4
2022年10-12月	▲0.3	1.5	▲26.6	▲13.3	8.1	1.0	5.2	7.1	▲3.5	35.8	12.4	▲71.1
2023年 1- 3月	4.5	8.2	▲8.0	16.1	4.2	9.7	20.8	▲3.9	5.6	24.7	29.8	▲60.2
4- 6月	9.8	13.4	▲6.9	16.8	6.3	13.7	30.0	12.6	12.4	3.5	36.3	3.4
7- 9月	7.7	9.3	▲28.4	17.6	▲1.3	11.7	29.4	27.7	10.3	9.6	18.5	▲41.1
10-12月	11.9	13.5	7.1	13.4	6.0	11.0	31.9	2.7	19.3	▲2.5	9.9	51.2
2023年 12月	5.8	6.6	▲30.3	46.0	▲4.8	16.7	20.7	▲15.1	14.2	2.4	▲9.1	▲13.3
2024年 1月	11.4	12.2	▲44.3	▲13.5	12.7	21.5	49.3	5.8	19.0	▲1.1	4.8	▲5.5
2月	5.2	3.0	▲15.2	23.8	8.1	▲2.7	▲2.7	9.6	2.9	19.6	▲26.9	213.5
4月からの累計	4,779	4,358	230	393	1,343	825	1,135	432	2,750	801	707	99
前年同期	4,363	3,919	279	346	1,282	741	886	384	2,427	770	619	103
増 減 量	415	439	▲49	46	61	84	249	48	323	32	88	▲4
前年同期比	9.5	11.2	▲17.5	13.4	4.8	11.3	28.1	12.5	13.3	4.1	14.2	▲3.6

(出所) 財務省貿易統計

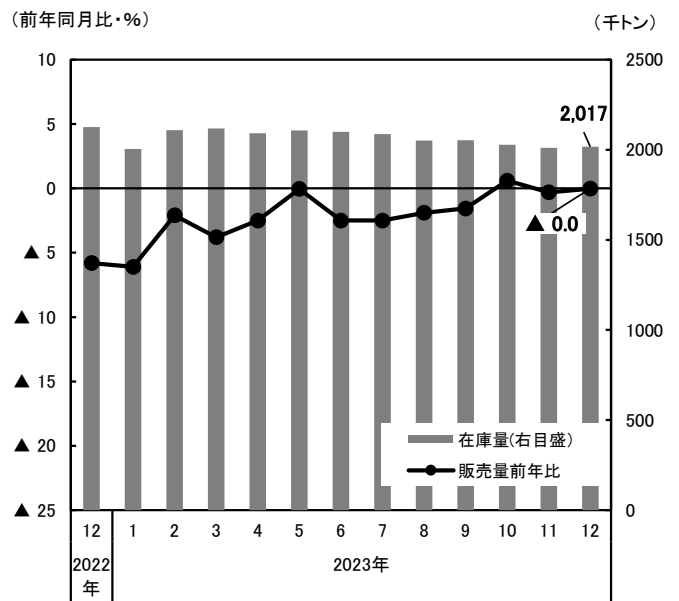
○12月における鋼材流通の動向

- ・ 市中販売は、前年同月比 0.0%減の 212 万トンと、2ヵ月連続の減少となった。
- ・ 市中在庫（自社所有分）は、前月末比で 0.6 万トン増加の 202 万トンと 3ヵ月ぶりの増加となった。

〔図 27〕 鋼材輸入鋼種別推移



〔図 28〕 市中鋼材数量調査の推移



〔表 10〕 特殊鋼鋼材輸入

(単位:千トン、%)

	特殊鋼鋼材輸入									
	合計	ステンレス	その他合金鋼	特殊鋼鋼材			国別			
				線材	鋼板	その他	韓国	台湾	中国	その他
2021年度	552	294	258	57	19	182	244	71	200	38
2022年度	483	279	204	57	17	130	182	75	179	46
2022年10-12月	112	61	51	13	5	34	35	14	52	12
2023年 1-3月	105	53	53	18	5	30	40	19	38	9
4-6月	113	61	52	16	4	33	52	17	36	9
7-9月	121	67	54	16	5	33	64	16	32	9
10-12月	108	59	49	12	3	35	50	16	35	7
2023年 12月	35	20	16	3	1	12	18	5	11	2
2024年 1月	39	22	17	4	*	12	20	5	11	2
2月	40	25	15	4	*	11	19	6	12	2
2021年度	▲8.1	31.1	▲31.5	▲10.8	▲87.9	17.0	▲3.9	46.4	▲24.6	11.7
2022年度	▲12.6	▲5.3	▲21.0	▲0.2	▲11.1	▲28.4	▲25.4	6.3	▲10.1	22.0
2022年10-12月	▲14.8	▲19.3	▲8.8	0.4	58.9	▲16.6	▲44.6	▲21.0	21.4	33.8
2023年 1-3月	▲23.3	▲36.4	▲3.4	31.9	2.8	▲17.5	▲31.8	▲16.4	▲16.2	▲22.2
4-6月	▲16.9	▲28.7	2.9	22.1	16.8	▲5.5	▲4.0	▲28.7	▲24.8	▲20.6
7-9月	▲6.2	▲16.3	10.1	25.4	19.7	2.9	19.1	▲14.4	▲25.2	▲36.2
10-12月	▲3.6	▲3.2	▲4.1	▲11.0	▲41.5	3.6	43.2	17.9	▲33.1	▲37.1
2023年 12月	▲2.4	4.5	▲9.8	▲54.0	▲51.7	22.6	86.3	16.6	▲41.4	▲49.8
2024年 1月	3.9	6.8	0.3	▲25.2	▲27.0	15.4	55.7	▲49.8	0.2	▲15.2
2月	33.3	63.4	1.8	▲29.4	▲52.0	24.8	70.1	60.6	2.9	▲17.7
4月からの累計	421	234	187	51	12	124	204	61	125	30
前年同期	444	262	182	50	13	120	166	70	165	43
増減量	▲24	▲28	5	2	▲1	4	38	▲10	▲39	▲13
前年同期比	▲5.3	▲10.8	2.5	3.5	▲8.0	3.3	22.8	▲14.0	▲23.8	▲29.6

(出所) 財務省貿易統計

〔表 11〕

鋼材流通動向

市中鋼材数量調査	
販売量	在庫量
26,718	2,198
25,673	2,118
6,467	2,126
6,290	2,118
6,336	2,100
6,339	2,053
6,473	2,017
2,115	2,017
-	-
-	-
▲3.1	259
▲3.9	▲80
▲4.6	▲33
▲4.0	▲8
▲1.7	▲18
▲2.0	▲48
0.1	▲36
▲0.0	6
-	-
-	-
-	-
19,148	-
19,383	-
▲236	-
▲1.2	-

(出所) 日本鉄鋼連盟

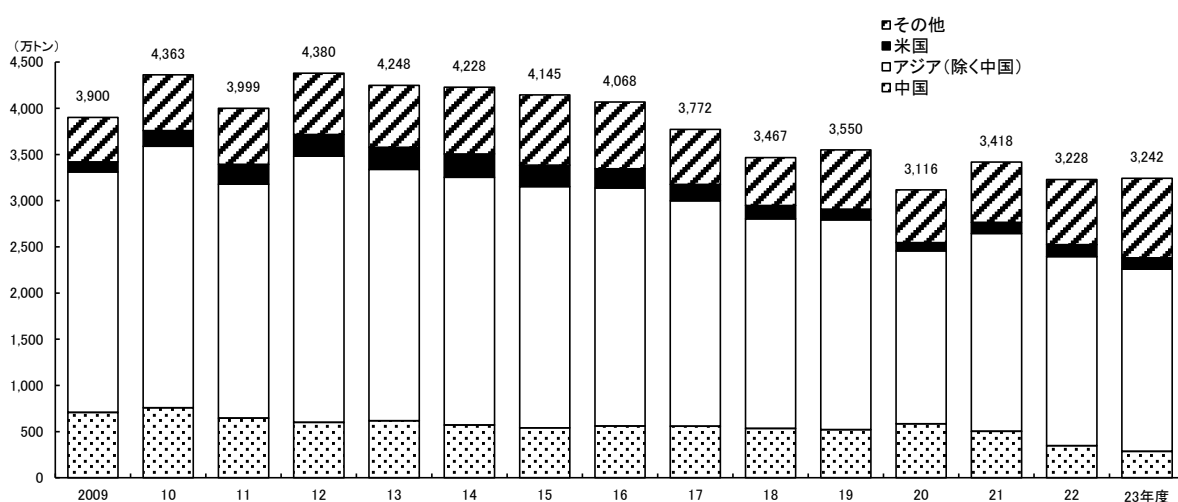
(注) 在庫は前月(期)末比

6. 鉄鋼輸出

**－3月の全鉄鋼輸出（速報）は、前年同月比9.8%減の270万トンと2ヵ月連続の減少
2023年度は前年度比0.4%増の3,242万トンと2年ぶりの増加－**

- 3月の全鉄鋼輸出（速報）は、前年同月比9.8%減の270万トンと2ヵ月連続の減少となった。仕向け先別にみると、韓国向け（23.3%減・6ヵ月連続）、ASEAN向け（21.2%減・5ヵ月連続）が減少したものの、中国向け（10.1%増・2ヵ月ぶり）、米国向け（8.2%増・2ヵ月ぶり）が増加した。
- 2023年度の全鉄鋼輸出（速報）は前年度比0.4%増の3,242万トンと2年ぶりの増加となった。
- 2月の普通鋼鋼材輸出は、前年同月比7.4%減の171万トンと2ヵ月ぶりの減少となった。品種別にみると、厚中板（19.1%減）、熱延鋼板類（7.4%減）、冷延鋼板類（2.9%減）、亜鉛めっき鋼板（6.9%減）が増加した。
- 2月の輸出平均単価は、全鉄鋼ベースで1,060ドルと2ヵ月連続の上昇となった。

〔図29〕全鉄鋼仕向け先別輸出推移

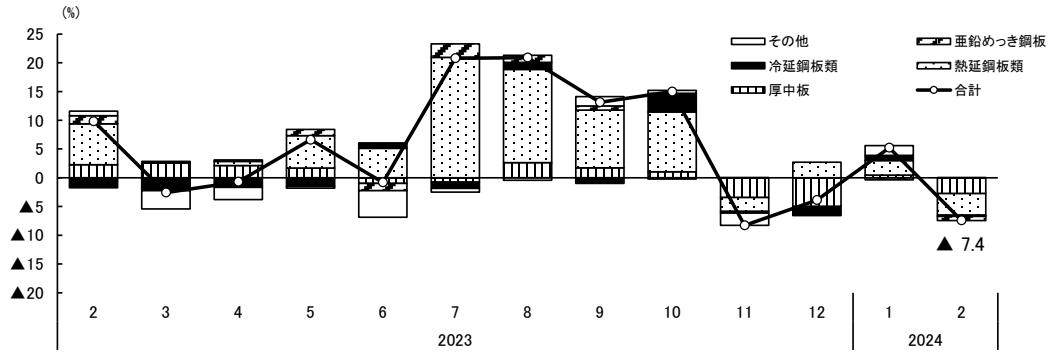


〔表12〕鉄鋼輸出総括表

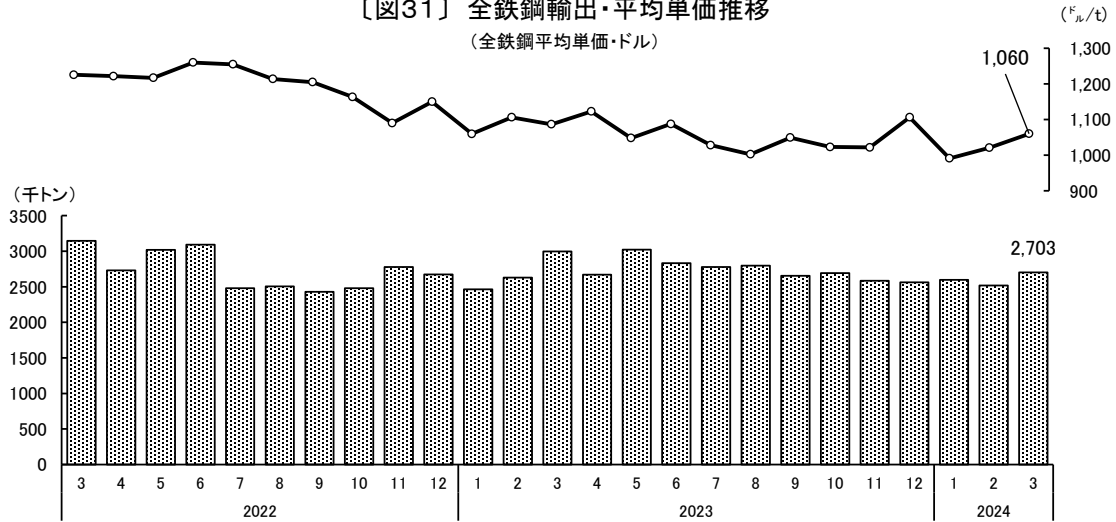
	輸出数量（千トン）				金額（FOB）		平均単価			円／ドル 換算レート
	全鉄鋼	銑鉄	鋼塊・半製品	鋼材	百万ドル	億円	ドル		千円 鋼材	
							全鉄鋼	鋼材		
2022暦年	32,303	73	3,113	28,345	38,918	50,698	1,204.8	1,200.2	156.4	130.27
2023暦年	32,690	101	3,115	28,810	34,601	48,401	1,058.5	1,057.6	148.0	139.88
2023年 1-3月	8,091	52	761	7,109	8,775	11,628	1,084.5	1,083.1	143.5	132.51
4-6月	8,526	21	830	7,517	9,245	12,545	1,084.3	1,083.6	147.0	135.70
7-9月	8,232	14	757	7,299	8,447	12,132	1,026.1	1,025.2	147.2	143.63
10-12月	7,840	13	766	6,885	8,134	12,096	1,037.6	1,037.3	154.3	148.70
2024年P1-3月	7,819	-	-	-	8,009	11,805	1,024.3	-	-	147.40
2024年 1月	2,596	3	250	2,300	2,573	3,713	990.8	989.7	142.8	144.32
2月	2,520	9	237	2,220	2,571	3,812	1,020.6	1,021.2	151.4	148.25
P 3月	2,703	-	-	-	2,864	4,280	1,059.9	-	-	149.40
2022暦年	▲6.1	84.0	▲14.6	▲4.9	3.5	22.8	10.2	10.4	31.0	18.7
2023暦年	1.2	37.0	0.1	1.6	▲11.1	▲4.5	▲12.1	▲11.9	▲5.4	7.4
2023年 1-3月	▲0.2	515.5	▲2.8	▲0.0	▲11.7	1.5	▲11.5	▲11.1	2.2	15.0
4-6月	▲3.6	▲15.3	▲9.6	▲2.4	▲15.2	▲10.0	▲12.1	▲11.7	▲6.3	6.2
7-9月	11.0	▲1.9	8.1	11.7	▲7.0	▲2.5	▲16.2	▲16.2	▲12.1	4.8
10-12月	▲1.2	▲48.3	7.8	▲1.6	▲9.5	▲5.9	▲8.4	▲8.2	▲4.5	3.9
2024年 1-3月	▲3.4	-	-	-	▲8.7	1.5	▲5.6	-	-	11.2
2024年 1月	5.3	▲65.0	▲5.2	7.1	▲1.5	7.8	▲6.5	▲6.2	2.7	9.5
2月	▲4.1	▲46.1	13.5	▲5.2	▲11.5	0.6	▲7.7	▲7.6	5.1	13.7
3月	▲9.8	-	-	-	▲12.0	▲2.6	▲2.4	-	-	10.7
4月からの累計	32,417	60	2,840	26,222	33,835	48,578	1,043.7	1,041.7	149.0	-
前年同期	32,284	90	2,802	25,723	37,754	50,870	1,169.4	1,285.0	173.2	-
増減量	133	▲30	38	499	▲3,919	▲2,291	▲125.7	▲243.4	▲24.2	-
前年同期比	0.4	▲32.9	1.4	1.9	▲10.4	▲4.5	▲10.7	▲18.9	▲14.0	-

（出所）財務省貿易統計（注）平均単価欄の鋼材は全鉄鋼から銑鉄、フェロミを除いたベース。

〔図30〕 普通鋼鋼材品種別輸出推移(前年同月比寄与度・%)



〔図31〕 全鉄鋼輸出・平均単価推移



〔表13〕 国別品種別輸出推移

(単位：千トン、%)

	全鉄鋼計								普通鋼鋼材計				
	米国	アジア	韓国	中国	ASEAN10	台湾	香港	インド	厚中板	熱延鋼板類	冷延鋼板類	垂鉛めっき鋼板	
2022暦年	1,268	24,308	5,431	3,949	10,898	1,809	152	848	21,404	2,936	10,870	1,681	2,043
2023暦年	1,229	22,800	5,637	2,849	10,549	1,585	117	1,175	22,642	2,975	12,323	1,567	2,147
2023年 1-3月	313	5,782	1,591	670	2,698	400	32	242	5,609	784	2,987	388	553
4-6月	286	5,771	1,481	731	2,615	421	30	249	5,933	772	3,283	406	544
7-9月	332	5,630	1,309	703	2,679	392	22	300	5,761	783	3,168	386	542
10-12月	298	5,617	1,256	745	2,557	372	33	384	5,339	636	2,885	387	508
2024年 P1-3月	317	5,563	1,353	688	2,377	-	-	-	-	-	-	-	-
2024年 1月	103	1,785	447	217	812	120	5	148	1,784	202	1,016	134	149
2月	102	1,828	455	216	784	129	9	134	1,705	214	867	123	185
P 3月	112	1,950	452	255	780	-	-	-	-	-	-	-	-
2022暦年	7.6	▲9.2	10.9	▲22.9	▲10.0	▲22.7	▲38.7	11.9	▲3.3	9.7	1.6	▲20.5	▲20.0
2023暦年	▲3.1	▲6.2	3.8	▲27.9	▲3.2	▲12.4	▲22.8	38.6	5.8	1.4	13.4	▲6.8	5.1
2023年 1-3月	8.7	▲6.0	12.2	▲41.1	1.9	▲9.8	▲31.0	83.0	4.2	8.9	10.6	▲19.1	8.4
4-6月	▲23.6	▲11.8	0.6	▲27.2	▲10.2	▲26.6	▲18.5	52.8	1.8	7.5	7.5	▲9.2	0.3
7-9月	18.4	▲2.0	15.0	▲25.2	▲0.6	▲3.5	▲39.8	52.3	18.3	8.4	31.8	▲3.1	14.6
10-12月	▲8.6	▲4.4	▲10.4	▲14.2	▲3.3	▲3.5	2.7	8.0	0.4	▲17.8	6.4	8.9	▲1.9
2024年 1-3月	1.5	▲3.8	▲15.0	2.7	▲11.9	-	-	-	-	-	-	-	-
2024年 1月	6.0	▲0.1	▲4.1	7.4	▲4.0	7.1	▲12.4	27.5	5.2	4.0	4.4	12.7	▲3.9
2月	▲8.6	▲4.0	▲15.2	▲8.5	▲8.9	11.2	▲18.7	81.9	▲7.4	▲19.1	▲7.4	▲2.9	▲6.9
3月	8.2	▲6.7	▲23.3	10.1	▲21.2	-	-	-	-	-	-	-	-
4月からの累計	1,233	22,581	5,399	2,867	10,228	1,434	100	1,216	20,522	2,607	11,219	1,435	1,928
前年同期	1,293	23,942	5,603	3,482	10,949	1,593	123	906	19,557	2,674	10,079	1,446	1,887
増減量	▲60	▲1,361	▲204	▲615	▲721	▲159	▲23	310	965	▲67	1,140	▲11	41
前年同期比	▲4.6	▲5.7	▲3.6	▲17.7	▲6.6	▲10.0	▲18.9	34.2	4.9	▲2.5	11.3	▲0.7	2.2

(出所) 財務省貿易統計

(注) アジアは中東を除く。

7. 海外市場 —2月の粗鋼生産（世界計）は前年同月比3.7%増—

【全般的情勢】

欧米ではインフレ圧力の緩和が続き、利下げに対する金融市場の関心の高まりと共に、年後半の景気回復への期待が高まりつつある。一方、中国は不動産市場の低迷、過剰生産・内需減速により景気改善はみられず、こうした状況が世界経済の成長の阻害要因となり続けている。加えて、地政学リスク等による海上輸送コスト上昇の影響の他、内需が堅調なインド、東南アジアにおいても、外需鈍化による景気減速に注視が必要な情勢となっている。

2月の世界の粗鋼生産（推計含む）は、インドの増産や日数の関係もあり、前年同月比3.7%増の1億4,884万トンと2ヵ月連続の前年比増となった。内需が低迷し、在庫削減が遅れる中国の高水準の輸出が継続し、世界各地で通商摩擦懸念が高まり、調査開始に到る案件が散見されている。

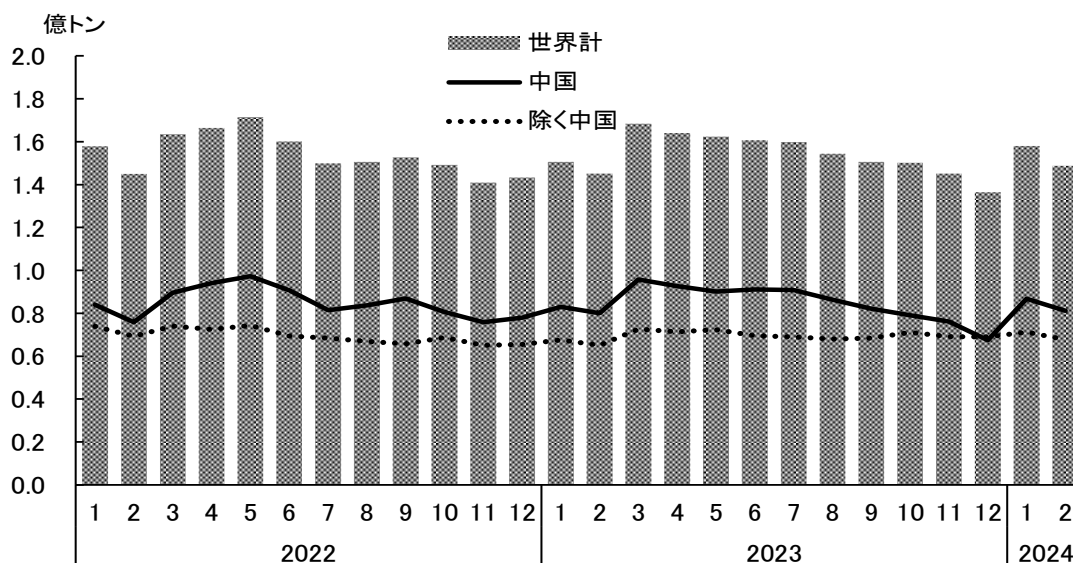
〔表14〕主要国の粗鋼生産

（単位：100万MT、%）

	2024年2月	前年同月比	2024年1~2月	前年同期比
日本	7.0	1.1	14.3	0.8
中国	81.2	3.5	168.0	1.6
韓国	5.1	▲ 1.5	10.8	0.2
台湾	1.6	0.2	3.3	8.3
インド	11.8	11.4	24.5	10.0
米国	6.5	▲ 1.2	13.0	▲ 2.6
ブラジル	2.8	13.1	5.5	6.4
E U 27	10.6	▲ 3.3	21.1	▲ 0.9
ロシア	5.7	▲ 4.4	11.7	▲ 3.2
世界計	148.8	3.7	306.9	3.0

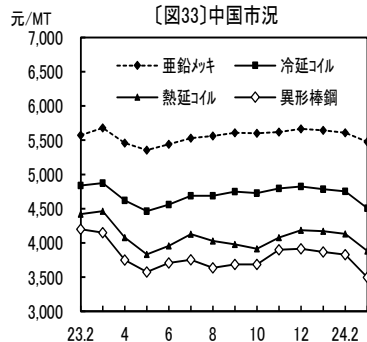
（出所）worldsteel 等

〔図32〕世界粗鋼生産



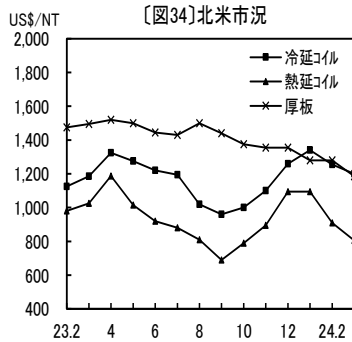
（出所）worldsteel

〔図33〕中国市況



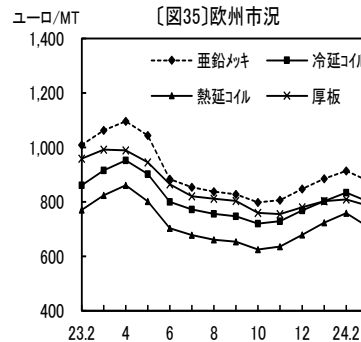
（出所）中国物資価格情報

〔図34〕北米市況



（出所）Kallanish

〔図35〕欧州市況

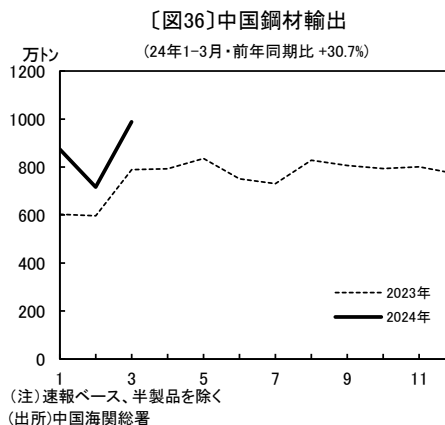


（出所）MEPS

【主要市場の動向】

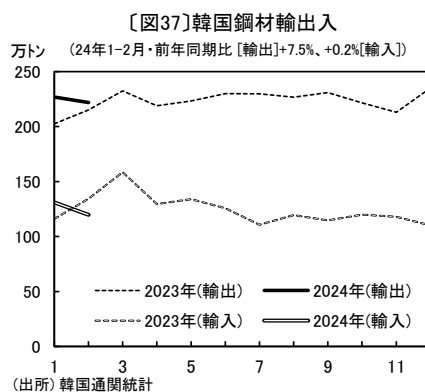
① 中 国

工業生産の伸びが2年ぶりの高水準となり、3月のPMIは6ヵ月ぶりの50超え、固定資産投資が3ヵ月連続で加速する一方、不動産関連の縮小傾向はさらに拡大。2月の自動車は旧正月による稼働日減少もあり、製販共に7ヵ月ぶりの前年割れ。3月の粗鋼生産は7.8%減の8,827万トン。3月の鋼材輸出は前年比25.2%増の988万トンと9ヵ月連続の前年同月比増、2016年7月（1,030万トン）以来の高水準。3月の鋼材市況は主要品種がいずれも下落。1～2月の鉄鋼業（単圧含む）の利益率は1.2%減と23年末から更に低下。



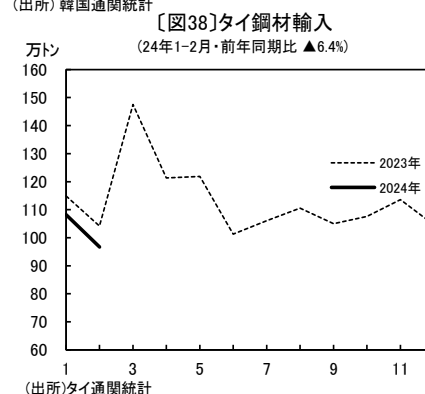
② 韓 国

製造業、輸出に改善の兆しが窺われ、3月の景気は緩やかな回復傾向。3月の自動車生産、国内販売、輸出はいずれも2ヵ月連続の前年比減。2月の建築着工面積は、政府支援策もあり前年比2倍の伸び。2月の粗鋼生産は6ヵ月連続の前年比増。



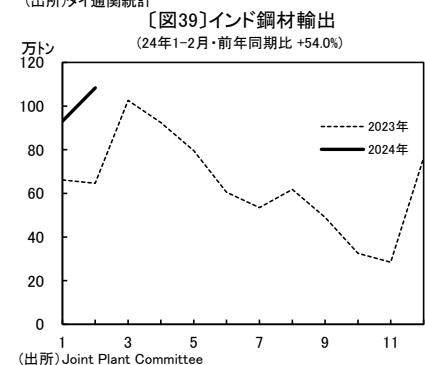
③ タ イ

サービス業、製造業、民間投資の改善により景気は緩やかなペースで拡大。2月の自動車生産は、国内向け不振が継続し、7ヵ月連続の前年割れ。2月の鋼材生産は前年同月比13.9%減と2ヵ月連続の二桁減。



④ イ ン ド

堅調な内需に支えられ、鋳工業生産、PMIは前年比増を継続。2月の乗用車国内販売台数は高水準を維持。2月の粗鋼生産は36ヵ月連続で前年比増。



⑤ 米 国

景気は堅調な雇用を背景に底堅く推移も、インフレ率が下げ渋るなか個人消費に減退の動き。3月の自動車販売は20ヵ月連続の前年比増。2月の粗鋼生産は2ヵ月連続の前年比減。鋼材市況は足元で反転上昇の動きが見られるものの、薄板類の下落基調が継続。

